

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-1		
障がい者支援事業 (総括)		開催日時	通年				
		参加料設定	無料～15,000円 * 講座による				
内容	1 障がい者の社会参加支援事業として、新宿青年教室の開催 2 障がい者のスポーツ学習交流事業として、障がい者スポーツ・学習教室、スポーツ・文化鑑賞会、ハンディキャップスイムデー、障がい者スポーツデー(水泳・球技等)、障がい者への関わり方講座、障がい者疑似体験講座等を実施。						
事業区分	1 主催事業	対象者	1 区内在住・在勤・在学の知的障害のある方 2 障害のある方				
	2 補助事業	会場	1 旧淀橋第二中学校校舎ほか 2 コズミックセンター、新宿区障害者福祉センター等				
関係団体	新宿区水泳連盟、新宿区卓球連盟 新宿区障害者福祉センター、日本スポーツ吹矢協会、日本ポッチャ協会ほか		部屋名	大体育室、多目的室、プール、科学教室等			
			指導員・講師等	新宿区水泳連盟、新宿区卓球連盟、日本スポーツ吹矢協会、日本奇術協会、日本ポッチャ協会ほか			
周知	方法	備考	定員(延べ)	人			
	広報紙、チラシ、ホームページ メールマガジン	1 Oh!レガス:2・3月号、特別支援学校ほか各施設に配布 2 時期に応じて Oh!レガスに掲載		団体			
申込み	方法	期間	応募者数	人			
	電話、はがき、FAX ホームページ	1 平成22年3月5日～22日(18日間) 2 講座による	参加者数	団体			
歳出科目	会計	大科目	延べ	4,247人			
	公益目的事業会計	事業費支出		7号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	10,015,000	7,661,035	10,697,000	7,545,550	3,151,450	70.5%
(2)	人件費(円)		4,875,602	5,433,000	4,863,050	569,950	89.5%
(3)	総事業費(1)+(2)	10,015,000	12,536,637	16,130,000	12,408,600	3,721,400	76.9%
(4)	事業収益(円)		1,305,500	1,550,000	1,367,000	183,000	88.2%
(5)	財源充当額(3)-(4)	10,015,000	11,231,137	14,580,000	11,041,600	3,538,400	75.7%
(6)	延べ参加者数	4,463	3,846	4,680	4,247	433	90.7%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	2,244	2,920	3,115	2,600	516	83.5%
【目的】新宿区障害者計画の基本理念を基に、障がい者が定期的に生涯学習活動に参加できる機会を提供するとともに、生涯学習活動を通して、障がい者の健康づくり、体力づくり、仲間づくりに寄与する。また、区民及び区内で活動する指導者等に、日常生活並びに生涯学習活動における障がい者への関わり方講習会等を開催し、障がい者に対する理解の増進を図る。							
【目標・成果指標】1 身体障害者手帳ならびに愛の手帳所持者の増加に伴う、障害の種類や程度に応じたプログラムの提供と、参加者の増加・満足度の向上を図る。2 質・量を満たしたサポーターの確保と育成による、方法論の継承と、家族や支援者に向けた講習会、そしてサポーターによる自発的な事業の企画と実施を行う。							
【課題】1 青年教室をはじめとする定員数の見直しと実施場所の調査・検討。軽度の知的障がい者向けの社会参加型事業の調査、検討、立案。2 障がい者のニーズ、障害の種類や程度に対応したプログラムの提供と定期的に参加できる環境の整備、ならびに継続した情報収集。3 区内中学生、高校生、大学生など、潜在的なボランティア(サポーター)の発掘と育成及びバリアフリーな交流の場の提供。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率:90.7%(4,247/4,680) 前年度比:110.4%(4,247/3,846)							
< 内訳・内容 > 1 新宿青年教室							
(1) 仲良しクラブ(30歳以上) 44人(年度末まで延べ808人) 青空クラブ(29歳以下) 36人(年度末まで延べ577人)							
(2) 活動内容 各クラブとも21回実施							
(3) 特別活動 7回(開講・閉校式、ハンディキャップスイムデー、野外活動、宿泊体験、合同行事、角笛新春の集い、外出活動)							
2 障がい者のスポーツ・学習交流事業 全11事業実施。							
(1) ハンディキャップスイムデー 4月11日～23年3月13日・全19回(新宿コズミックセンタープール)							
(2) 障がい者スポーツデー プール:4月1日～23年3月17日・全78回 大体育室:4月7日～3月16日・全43回							
(3) 障がい者卓球教室 6月5日～7月24日・全6回(新宿コズミックセンター大体育室/半面)							
(4) 東京ヤクルトスワローズ・障がい者招待デー 7月10日(明治神宮球場)							
(5) 東京ヴェルディ・障がい者招待デー 8月15日(国立競技場) (6) 出張!ポッチャ体験デー 9月22日(新宿区障害者福祉センター)							
(7) 障がい者と支援者のためのスポーツ吹矢教室 11月20日～12月11日(新宿コズミックセンター大体育室/半面)							
(8) 奇術の日・障がい者招待デー コズミック・イリュージョン 12月4日(新宿コズミックセンター多目的室)							
(9) 新宿交響楽団 定期演奏会、障がい者招待デー 12月26日(新宿文化センター大ホール)							
(10) 障がいのある方のための星空コンサート 2月19日(新宿コズミックセンタープラネタリウム)							
(11) ハンディキャップ・クッキング 2月19日(新宿コズミックセンター科学教室)							
【今後の課題】							
1 青年教室…(1)受講生の増加及び高齢化による受講条件、クラブ・班編成、プログラム内容の見直し。(2)区内中学生、高校生、大学生、専門学校などに働きかけ、潜在的なサポーターの発掘と育成。(3)クラブ・班編成の見直しに伴うスタッフ体制の強化と、新体制に向けた準備の着手。							
2 障がい者のスポーツ・学習交流事業…(1)関係団体へのニーズ調査と連携体制の強化により、より魅力的なプログラムの提供を図るとともに、単発講座だけでなく通年で参加できる講座の充実をめざす。(2)指導員・サポーター養成講座について、人材バンク講習会と連携した実施により、幅広く潜在的な人材の発掘をめざす。(3)「ハンディキャップスイムデー」と「新宿青年教室 青空クラブ」の活動日が重なっていることで参加機会の提供に問題があるため、開催日の増設や指導員つきのプールプログラムを検討する必要がある。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	456,000			456,000	335,500	120,500	73.6%
通信運搬費	64,000			64,000	42,795	21,205	66.9%
消耗品費	944,000		1,000	943,000	722,791	220,209	76.6%
燃料費	4,000		1,000	5,000	4,130	870	82.6%
使用料及び賃借	1,173,000			1,173,000	937,714	235,286	79.9%
諸謝金	6,721,000			6,721,000	4,237,000	2,484,000	63.0%
委託費	1,325,000			1,325,000	1,255,620	69,380	94.8%
雑費	10,000			10,000	10,000	0	100.0%
人件費	5,433,000			5,433,000	4,863,050	569,950	89.5%
事業費合計(円)	16,130,000		1,000	16,130,000	12,408,600	3,721,400	76.9%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
7号事業収益	1,550,000			1,550,000	1,367,000	183,000	88.2%
合計(円)	1,550,000			1,550,000	1,367,000	183,000	88.2%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 青年教室については年間計画・野外体験等の特別プログラムも積極的に行った結果、好評であったが、新しいプログラムの導入に課題を残す。二つのクラブの人数バランスを考慮した班編成と、講師・サポーターの人材確保に課題を残す。 2 障がい者のスポーツ・学習交流事業としては、新たな連携先の協力もあり、スポーツ観戦やコンサート鑑賞など魅力ある充実した内容を実施できた。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-1-(1)		
障がい者支援事業 (1)新宿青年教室		開催日時	4月11日～平成23年3月13日				
		参加料設定	年間15,000円(税込み)				
内容	新宿区在住の知的障がい者を対象に、日曜日にスポーツ、創作、レクリエーションなどの活動を通して、仲間との交流を図ると共に日常生活をより楽しむ機会を提供する。						
事業区分	1主催事業	対象者	区内在住在勤の知的発達障がい者				
	2補助事業	会場	旧淀橋第二中学校校舎・ほか				
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等	講師	15人			
周知	方法	備考	定員(延べ)	80人			
	広報紙、チラシ、ポスター ホームページ	Ohレガス:2月・3月号、特別支援学校 ほか各施設に配布		団体			
申込み	方法	期間	応募者数	81人			
	持参 電話・FAX HP・E-mail	平成 22年 3月 5日 ～ 3月 22日 (18日間)	参加者数	80人			
歳出科目	会計	大科目	延べ	1,385人			
	公益目的事業会計	事業費支出		7号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	8,077,000	6,594,590	8,655,000	6,493,229	2,161,771	75.0%
(2)	人件費(円)	-	3,930,176	4,208,000	3,768,374	439,626	89.6%
(3)	総事業費(1)+(2)	8,077,000	10,524,766	12,863,000	10,261,603	2,601,397	79.8%
(4)	事業収益(円)	1,200,000	1,155,000	1,200,000	1,200,000	0	100.0%
(5)	財源充当額(3)-(4)	6,877,000	9,369,766	11,663,000	9,061,603	2,601,397	77.7%
(6)	延べ参加者数	1,617	1,336	1,680	1,385	295	82.4%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	4,253	7,013	6,942	6,543	400	94.2%
<p>【目的】義務教育を修了した知的障がい者が、仲間と会える場所、仲間と一緒に活動できる場所として、休日の時間を楽しく過ごす機会と場を提供するとともに、創作や絵画といった趣味的な活動、スポーツ・レクリエーション活動を通じて社会生活を送るための生活技術、社会常識を体験できる機会を提供する。</p> <p>【目標・成果指標】定員の確保と受講率の前年度比3%増を目指すため、日程調整とプログラムの挺入れを図る。また、22年度以降登録する新規サポーターについて、段階的レベルアップを図るため、知的障がいに関する資料の充実や定期的講習会などで育成できる環境づくりを行う。</p> <p>【課題】1 定員数、受講条件、実施場所、時間の調査、検討、見直し。 2 区内中学生、高校生、大学生などに働きかけ、潜在的ボランティア(サポーター)の発掘と育成。 3 スタッフ体制の見直しと、新体制に向けた準備の着手。</p>							
<p>【今年度の結果】</p> <p>< 成果指標に対する実績 > 達成率:82.4%(1,385/1,680) 前年度比:103.7%(1,385/1,336)</p> <p>< 内訳・内容 ></p> <p>仲良しクラブ(30歳以上) 参加人数:44人 3月末までの参加総数:808人 青空クラブ(29歳以下) 参加人数:36人 3月末までの参加総数:577人</p> <p>1 活動内容 各クラブ21回 2 主な特別活動 (1)開講式(仲良しクラブ、青空クラブ合同)76人 (2)閉講式(仲良しクラブ、青空クラブ合同)67人 (3)ハンディキャップスイムデー(青空クラブ)26人 (4)野外体験「としまえん」青空クラブ30人、仲良しクラブ38人 (5)宿泊体験「群馬県沼田市」青空クラブ27人、仲良しクラブ39人(1泊2日) (6)合同行事(仲良しクラブ、青空クラブ合同)66人 (7)角笛新春の集い(青空クラブ、仲良しクラブ希望者)30人 (8)外出活動(仲良しクラブ各班)36人</p>							
<p>【今後の課題】</p> <p>1 受講生の増加及び高齢化による受講条件、クラブ・班編成、プログラム内容の見直し。 2 区内中学生、高校生、大学生、専門学校などに働きかけ、潜在的サポーターの発掘と育成。 3 クラブ・班編成の見直しに伴うスタッフ体制の強化と、新体制に向けた準備の着手。</p>							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	456,000			456,000	335,500	120,500	73.6%
通信運搬費	60,000			60,000	42,795	17,205	71.3%
消耗品費	761,000		1,000	760,000	665,470	94,530	87.6%
燃料費	4,000		1,000	5,000	4,130	870	82.6%
使用料及び賃借	1,173,000			1,173,000	937,714	235,286	79.9%
諸謝金	5,586,000			5,586,000	3,926,000	1,660,000	70.3%
委託費	605,000			605,000	571,620	33,380	94.5%
雑費	10,000			10,000	10,000	0	100.0%
人件費	4,208,000			4,208,000	3,768,374	439,626	89.6%
事業費合計(円)	12,863,000		0	12,863,000	10,261,603	2,601,397	79.8%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
7号事業収益	1,200,000			1,200,000	1,200,000	0	100.0%
合計(円)	1,200,000			1,200,000	1,200,000	0	100.0%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
82.4%	80.5%	4

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 昨年度同様の年間予定を組んだため、全体的な活動はスムーズに行えた。その反面、新しいプログラムの導入に課題を残す。 2 野外体験、宿泊体験、外出活動など通常活動以外の特別活動も積極的に行い、受講生の反応も良好だった。 3 青空クラブと仲良しクラブの受講生の人数バランスを考慮した班編成と、講師・サポーターの人材の確保などの課題を残す。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-1-(2)		
障がい者支援事業 (2)障がい者のスポーツ・学習交流事業		開催日時	4月1日～平成23年3月17日				
		参加料設定	無料～600円				
内容	区内障がい者を対象に、スポーツ・学習教室、プラネタリウム・映画の鑑賞やスポーツ観戦等を実施するほか、東京都心身障害者福祉センター等と連携し、区民が障害のある方への理解を深めることを目的に、障害のある方への関わり方講座、障がい者疑似体験講座等を実施する。						
事業区分	1主催事業	対象者	区内在住・在勤・在学の障害のある方				
	2補助事業	会場	新宿コズミックセンター、新宿区障害者福祉センター等				
関係団体	新宿区水泳連盟、新宿区卓球連盟 新宿区障害者福祉センター、日本スポーツ吹矢協会、日本ポッチャ協会ほか	部屋名	大体育室、多目的室、プール、科学教室等				
		指導員・講師等	新宿区水泳連盟、新宿区卓球連盟、日本スポーツ吹矢協会、日本奇術協会、日本ポッチャ協会ほか				
周知	方法	備考		定員(延べ)	人		
	広報紙、チラシ、ホームページ メールマガジン				団体		
申込み	方法	期間		応募者数	人		
	電話、はがき、FAX ホームページ	講座による		参加者数	2,757人		
歳出科目	会計	大科目		延べ	団体		
	一般会計	事業費支出			2,862人		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	1,938,000	1,066,445	2,042,000	1,052,321	989,679	51.5%
(2)	人件費(円)	-	1,143,735	1,225,000	1,094,676	130,324	89.4%
(3)	総事業費(1)+(2)	1,938,000	2,210,180	3,267,000	2,146,997	1,120,003	65.7%
(4)	事業収益(円)	344,000	150,500	350,000	167,000	183,000	47.7%
(5)	財源充当額(3)-(4)	1,594,000	2,059,680	2,917,000	1,979,997	937,003	67.9%
(6)	延べ参加者数	2,846	2,510	3,000	2,862	138	95.4%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	560	821	972	692	281	71.2%
<p>【目的】障がい者が定期的にスポーツや学習活動に参加できる機会を提供するとともに、活動を通して、障がい者の健康づくり、体力づくり、仲間づくりに寄与することを目的とする。また、区民及び区内で活動する指導者等に、日常生活並びに生涯学習活動における障がい者への関わり方講習会等を開催し、障がい者に対する理解の増進を図る。</p> <p>【目標・成果指標】主に重度障がい者に向けた出張講座の実施や障がい者のニーズ調査、把握による事業内容の検討・見直しにより、参加者数前年度比5%増を目指す。サポーターの育成及び事業参加へのシステムづくりを行う。</p> <p>【課題】1 事業の実施内容・時間・場所の検討と、ニーズの調査。2 重度障がい者や事業参加に消極的な方に向けたプログラムの充実。3 質・量を満たしたサポーターの確保と育成。</p> <p>【今年度の結果】</p> <p>< 成果指標に対する実績 > 達成率:95.4%(2,862/3,000) 前年度比:114.0%(2,862/2,510)</p> <p>< 内訳・内容 > 1 「ハンディキャップスイムデー」4月11日～23年3月13日・全19回・新宿コズミックセンタープール 238人 2 「障がい者スポーツデー」(1)プール:4月1日～23年3月17日・全78回 405人 (2)大体育室:4月7日～3月16日・全43回312人 3 「障がい者卓球教室」6月5日～7月24日・全6回・新宿コズミックセンター大体育室(半面)113人 4 「東京ヤクルトスワローズ・障がい者招待デー」7月10日・明治神宮球場 31人 5 「東京ヴェルディ・障がい者招待デー」8月15日・国立競技場 33人 6 出張!ポッチャ体験デー 9月22日・新宿区障害者福祉センター 26人 7 障がい者と支援者のためのスポーツ吹矢教室 11月20日～12月11日・新宿コズミックセンター大体育室(半面) 12人 8 「奇術の日・障がい者招待デー コズミック・イリュージョン」12月4日・新宿コズミックセンター多目的室 61人 9 「新宿交響楽団 定期演奏会」障がい者招待デー 12月26日・新宿文化センター大ホール 31人 10 障がいのある方のための星空コンサート 2月19日・新宿コズミックセンタープラネタリウム 51人 11 「ハンディキャップ・クッキング」2月19日・新宿コズミックセンター科学教室 14人 *いずれも介助者は含まず。 12 生涯学習指導者・支援者講習会との連携による「障がい者との関わり方講習」は震災の影響で中止。(3/12)</p> <p>【今後の課題】1 関係団体へのニーズ調査と連携体制の強化により、より魅力的なプログラムの提供を図る。 2 単発講座だけでなく、通年で参加できる講座の充実。 3 指導員・サポーター養成講座について、人材バンク講習会と連携した実施により、幅広く潜在的人材の発掘を目指す。 4 毎月第2・4日曜日開催の「ハンディキャップスイムデー」と「新宿青年教室 青空クラブ」の活動日が重なっていることで、参加できない対象者がいるため、「ハンディキャップスイムデー」の開催日の増設、または新たな指導員つきのプールプログラムを検討する必要がある。</p>							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	4,000			4,000	0	4,000	0.0%
消耗品費	183,000			183,000	57,321	125,679	31.3%
諸謝金	1,135,000			1,135,000	311,000	824,000	27.4%
委託費	720,000			720,000	684,000	36,000	95.0%
人件費	1,225,000			1,225,000	1,094,676	130,324	89.4%
事業費合計(円)	3,267,000			3,267,000	2,146,997	1,120,003	65.7%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
7号事業収益	350,000			350,000	167,000	183,000	47.7%
合計(円)	350,000			350,000	167,000	183,000	47.7%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	10.00%	4

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	4	1 通年の定期講座を含む全11講座を実施。新たな連携先の協力もあり、主に「観戦・観賞」プログラムについて、バラエティに富んだ、充実した内容となった。 2 対象者・介助者ともに当日のアンケート回答が困難な場合も多いため、回収方法に工夫が必要。
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-2		
消費者支援事業		開催日時	4月～23年3月				
		参加料設定	無料(ただし、講座により教材費のみ徴収)				
内容	消費者の権利を自覚し、「かしこい消費者」を育成するために、区民に対し専門講師等による身近なテーマの講座を開催し学習の場を提供する。						
事業区分	3その他	対象者	区内在住・在勤・在学の方				
	3受託事業	会場	新宿コズミックセンター、生涯学習館他				
関係団体	別紙参照	部屋名					
		指導員・講師等	民間企業、NPO法人、行政				
周知	方法	備考			定員(延べ)	765人	
	広報紙 ホームページ チラシ ポスター その他	oh!レガス 新宿区報 申込期間中掲載 別紙参照			応募者数	846人	
申込み	方法	期間			参加者数	団体	
	往復ハガキ 電話 FAX HP	講座による				延べ	899人
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			7号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	1,040,000	210,877	874,000	471,423	402,577	53.9%
(2)	人件費(円)	-	2,834,482	1,515,000	1,398,725	116,275	92.3%
(3)	総事業費(1)+(2)	1,040,000	3,045,359	2,389,000	1,870,148	518,852	78.3%
(4)	事業収益(円)	200,000	0	200,000	55,050	144,950	27.5%
(5)	財源充当額(3)-(4)	840,000	3,045,359	2,189,000	1,815,098	373,902	0.0%
(6)	延べ参加者数	400	946	440	899	459	204.3%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	2,100	3,219	4,975	2,019	2,956	40.6%
【目的】消費者の学習機会や場を確保し、消費生活に関する知識の普及を図り区民の生活向上を目指すとともに消費者の権利を自覚した「かしこい消費者」を育成する。							
【目標・成果指標】 1 社会性・地域性のある時にかなった身近なテーマを取り上げ、体験を交えた講座や家庭で実践できる内容の講座を企画する。 2 ニーズに応じて講座回数を検討し、講座予定や講座内容の閲覧など情報提供を図り参加者拡大を目指す。 3 連携企業・団体・行政機関等との協力関係を作り、他事業との連携を深めながら、質の高い事業展開を図る。 4 区民の利便性を考え、コズミックセンターに偏らず、生涯学習館や地域センターでも実施する。							
【課題】 1 ニーズの把握のための調査方法の検討と情報提供に向けての整備・調整。 2 消費生活センターなど他部署と情報の共有化を図り、学習者のニーズに沿った多様な講座内容の企画と即実践につながるような体験型の講座内容を企画する。 3 新規連携先を発掘する。							
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率:133.8%(899/672) 前年度比:95.0%(899/ 946) < 内訳・内容 > 1 土曜日の午前を中心に消費者に役立つ多様なテーマで、年間全17講座を実施。 2 参加希望が多数になり定員を超えた場合も、講座内容により可能な限り、会場の収容人数、ならびに講師の対応が可能であれば、午前午後1回づつ講座を開講する等の変更をし、多くの方が参加可能なように工夫した。 3 参加者の実生活に則し、生活に生かしやすいように、同じテーマの講座を世代別に分けて開講する事を試みた。その結果、参加人数は伸びなかったが、参加者の満足度は高かった。 4 参加者の幅を広げるために託児付の講座を開講した。託児をつけたことにより、いままで興味があっても参加できなかった子育て世代の方が参加しやすい環境づくりをすることができ、必要があることが分かった。							
【今後の課題】 1 学習者のニーズを把握するために参加者からのアンケートや調査の方法を検討する。 2 内容が偏らないよう連携先を開拓し、多様な講座内容を提供し日々の暮らしに活かしてもらえるような講座内容を企画する。 3 参加者の幅を広げるために周知の方法を考えると共に、子育て世代の方も参加しやすいような環境を整える。 4 消費者団体連絡協議会と相互に情報交換・連携し、効果的な事業企画、ならびに学習者の学習継続を図る。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費支出	4,000			4,000	0	4,000	0.0%
通信運搬費支出	70,000			70,000	39,700	30,300	56.7%
消耗品費支出	219,000			219,000	89,723	129,277	41.0%
使用料及び賃貸し支出	60,000			60,000	40,000	20,000	66.7%
諸謝金支出	480,000			480,000	302,000	178,000	62.9%
租税公課支出	41,000			41,000	0	41,000	0.0%
人件費	1,515,000			1,515,000	1,398,725	116,275	92.3%
事業費合計(円)	2,389,000			2,389,000	1,870,148	518,852	27.7%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
受託事業収益	200,000			200,000	55,050	144,950	27.53%
事業受託収益	2,189,000			2,189,000	2,189,000	0	100.00%
合計(円)	2,389,000			2,389,000	2,244,050	144,950	93.93%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
117.5%	89.1%	4

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	4	1 体験を交えた講座を増やし、掃除や収納など家庭ですぐに役立つ講座を、実施する事ができた。 2 子育て世代の方にも参加しやすい環境をつくるため講座により託児をつけた。その事により参加者の幅が広がった。 3 区民のニーズに合い応募者が定員を大幅に超えた講座については、追加講座を開講してもらうなどの対策を立て受講機会を提供する事ができた。
---------------	---	--

消費者講座 実績報告

	講座名	内容	実施日	時間	会場	連携先	定員	応募数	当選者	参加数	託児	備考
1	起震車体験「震度7の世界を体験しよう」	起震車で震度7の地震の揺れを体感するとともに、家具の転倒の状況や地震の被害想定、防災の知識などを知り、日頃からの防災啓発を図る	4月3日(土)	10:00~16:00頃	新宿コズミックセンター 正面玄関前	区危機管理課				257名		参加無料
2	家事名人が教える簡単テクニク~目からウロコの快適に暮らす掃除・整頓術	家にあるものや便利道具を使って、5分でできる片付け法や掃除テクニク、また迷わない捨て方、整理整頓術などを学ぶ。	4月24日(土)	10:00~11:30	新宿コズミックセンター 大研修室	消費生活アドバイザー 阿部絢子	50名	141名	141名	114名		参加無料
3	オリジナルお箸を作るう~お箸の知育教室	日本の食文化の基本である箸の歴史、名前の由来、世界のお箸使用人口など、お箸のいろはについて学びながらオリジナル箸を作る食育講座。	5月15日(土)	14:00~16:00	新宿コズミックセンター 大研修室	榊兵左衛門和歌山県観光協会	50名	56名	56名	49名		1,050円(教材費実費)
4	ミニチュア家具でインテリアコーディネーター体験	実物の1/12の縮尺空間に同縮尺の家具等を使ってインテリアコーディネートを体験し、豊かな生活づくりに役立てる。	6月12日(土)	10:30~12:30	新宿コズミックセンター 中研修室	日本フリーランスイテリアコーディネーター協会 JAFICA	50名	51名	51名	38名		参加無料
5	お葬式の常識・非常識 PART2	葬儀費用やトラブル例など、葬儀にまつわる常識・非常識と生前準備についての要点を学習する。	7月3日(土)	10:00~12:00	新宿コズミックセンター 大研修室	葬儀相談員 市川愛事務所 リリーフ	70名	92名	92名	71名		参加無料
6	ズバっとわかる! 電子マネー	電子マネーの概要と使用法やポイント還元などのお得な使い方を学ぶ。	7月31日(土)	10:00~12:00	新宿コズミックセンター 中研修室	株式会社ホーム・コンピューティング・ネット	50名	47名	47名	35名		参加無料
7	「キレイ」を続ける 下着選び	研究実績45年のワコール人間科学研究所データを基に、加齢に伴う体質変化に合わせた下着の選び方を解説する。	9月11日(土)	10:00~12:00	戸塚地域センター 会議室1・2	株式会社ワコール	45名	52名	52名	39名	2名	参加無料
8	賢い保険の選び方(子育て世代編)	保険や保証の基礎や必要性を学び、ライフステージや個々の生活に合った保険選びを通じて生活設計を考える場を作る。	9月25日(土)	10:00~12:00	新宿コズミックセンター 大会議室	特定非営利法人	50名	22名	22名	17名	4名	参加無料
9	賢い保険の選び方(ミドル~シルバー編)	保険や保証の基礎や必要性を学び、ライフステージや個々の生活に合った保険選びを通じて生活設計を考える場を作る。	9月25日(土)	10:00~12:00	新宿コズミックセンター 大研修室	くらしの経済サポートセンター	50名	32名	32名	24名		参加無料
10	あなたの足にあった快適な靴の選び方	一般的な靴やおしゃれ靴について、自分の足に合った選び方や正しいはき方とは、ランニング・ウォーキングシューズの知識と足に合った選び方を学ぶ。新宿スポレク2010内で実施。	10月11日(月・祝)	10:00~12:30	新宿スポーツセンター 小会議室	アキレス株式会社	50名	55名	55名	41名		参加無料
11	初心者のためのデジタル一眼レフ講座	デジタル一眼レフ初心者を対象に講習を行い(機材貸出あり)、苦手意識を克服し自分に合った楽しみ方を見つけていただき趣味に繋がる知識を得ることを目標とする。同上*申込者多数につき講師らと相談上、午後の講座を増やす。	10月25日(月)	10:00~12:00 13:00~	新宿コズミックセンター 小会議室	株式会社プライムM	20名	51名	47名	36名	4名	参加無料
12	これでパッチリ! 確定申告2011	確定申告にかかわる所得税・住民税等を中心に税金のしくみや確定申告書を作成する上でのポイント、節税ワザなど、実際に役立つ税金の知識を身に付ける。	12月3日(金)	18:00~20:30	新宿コズミックセンター 大会議室	大林公認会計士事務所	50名	48名	48名	40名		参加無料
13			12月11日(土)	10:00~12:00			50名	60名	60名	42名		
14	くらしを彩るインテリア~「日ごろの悩みがスッキリ片付く収納セミナー」	物の残し方・減らし方のコツや、あなたの暮らしにあった分類パターンを知り挫折しない整理収納のコツを学ぶ。	12月4日(土)	10:00~12:00	新宿コズミックセンター 大研修室	日本フリーランスイテリアコーディネーター協会 JAFICA	30名	21名	21名	18名	4名	200円
15	くらしを彩るインテリア~「シニア世代の住まいインテリア」	危険を予防し、体の衰えを補う設備や間取りを知り、老後の住まいのありかたを考える。高齢者疑似体験実施	12月18日(土)	10:00~12:30	新宿コズミックセンター 大研修室		30名	10名	10名	5名		参加無料
16	アンコールセミナー~お葬式の常識・非常識	葬儀費用やトラブル例など、いざという時のためのお葬式の常識・非常識を、葬儀を出す側・参列する側それぞれ、クイズ形式の実習も交えて学ぶ。	1月22日(土)	10:00~12:00	新宿コズミックセンター 大研修室	葬儀相談員 市川愛事務所 リリーフ	60名	50名	50名	38名		参加無料
17	生前準備と失敗しないお墓選び	お墓を選ぶ時に押さえておきたいポイント等、最近話題の終活について、具体的な例やエンディングノートの説明などを交えながら学ぶ。	2月5日(土)	10:00~12:00	新宿コズミックセンター 大研修室		60名	58名	58名	35名		参加無料
前期合計							415	493	493	644	6	
平均							52	62	62	72	3	
後期合計							350	353	349	255	8	
平均							44	44	44	32	4	
総合計							765	846	842	899	14	
平均							48	53	53	53	4	

事業名		定款	第7号	事業番号	7-3		
民間等と連携した機会提供事業		開催日時	4月～23年3月				
		参加料設定	無料～6,000円				
内容	区民の多様なニーズに応えていくため、都内に点在する資源(企業・NPO法人・行政機関・各種専門学校等団体)を活用、柔軟かつタイムリーな事業を企画・実施する。						
事業区分	2連携事業	対象者	幼児・小学生～高齢者・障がい者				
	1自主事業	会場等	新宿コスミックセンター他				
関係団体	別紙のとおり	講師等	民間企業・NPO法人など				
周知	方法	備考		連携共催事業	2,135人・16講座		
	広報紙、ホームページチラシ・ポスター等			文化講演会	195人・2講座		
申込み	方法	期間		合唱団の運営	4,621人		
	各事業ごとに設定			延べ	6,951人・18講座・7団体		
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		7号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	821,000	11,520	3,734,000	2,245,160	1,488,840	60.1%
(2)	人件費(円)	-	2,975,755	2,265,000	2,111,977	153,023	93.2%
(3)	総事業費(1)+(2)	821,000	2,987,275	5,999,000	4,357,137	1,641,863	72.6%
(4)	事業収益(円)	850,000	0	3,560,000	1,958,900	1,601,100	55.0%
(5)	財源充当額(3)-(4)	29,000	2,987,275	2,439,000	2,398,237	40,763	98.3%
(6)	延べ参加者数	1,723	2,295	2,000	6,951	4,951	347.6%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	17	1,302	1,220	345	874	28.3%
【目的】 都内で活動している民間企業及びNPO団体をはじめ、行政機関や文化・芸術団体、音楽団体、各種専門学校、関係団体等の団体との対等な関係、役割分担のもとに連携協働し、団体が持っているノウハウや資源を活用し、区民に多様なかつ質の高い事業を提供していく。							
【目標・成果指標】 1 区民の多様なニーズに対応したプログラムを実施するとともに、定期的な事業の実施を目指す。 2 団体が持つノウハウや資源から、区民のニーズを反映したプログラムを企画し、関係団体への積極的な企画提案を行なうとともに事業化する。 3 連携先団体との継続的な協力関係を構築し、定期的な事業の開催を目指す。							
【課題】 1 要綱の見直しや審査会の実施方法等の見直しを行なう。 2 事務の効率化を図り、財団からの積極的な企画の提案(売り込み)による事業の実施の増を図る。 3 人気のある講座でも単発事業としての開催が多いため、連携先との事業を継続的に発展支えていくための条件整備を行なう。 4 財団で実施する他事業との内容・開催時期の調整を図るとともに、区民意識調査等を随時確認し、時事性のあるテーマ等も選定の対象とする。							
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率: 延べ団体数 23.3% (7/30) 前年度比: 26.9% (7/26) 延べ参加者数 347.6% (6,951/2,000) 302.8% (6,951/2,295) < 内訳・内容 > 財団事業体系に当てはまらない事業を本事業として実施する。 1 連携共催事業 (1) 子育て世代対象事業について、一時保育を伴う事業を実施。 (2) 経済に関わる事業のうち、啓発的な内容について、落合および西新宿地区の学校施設を活用して事業を実施。 (3) 青年会議所・早稲田大学(新規締結)・エイプロシスの3団体については、年度を越えた連携協定締結。 2 文化講演会 NHKと連携し、2講座実施。 3 合唱団の運営 (1) 市民合唱団等の指導に長けた専門家への運営委託に基づく役割分担により実施。 (2) 参加料に区民割引を設け、区民参加率前期20%、後期22%と参加率が上がった(前年度9%)。 (3) 最終目標である発表(演奏会)については、第2号事業「音楽鑑賞機会の提供」として位置付ける。 演奏会(3月12日予定)については3月11日の東日本大震災により中止。							
【今後の課題】 1 要綱、実施に至るまでの決定事務を整理。また年間を通し、偏りなく実施する。 2 区内・外のNGO・NPO、企業や地域団体等との連携により、幅広い分野における学習機会の提供の場づくりを行う。 3 ニーズを把握し、それらニーズを企業・地域団体等へ提案していく仕組みづくり。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	10,000			10,000	0	10,000	0.0%
通信運搬費	102,000			102,000	65,890	36,110	64.6%
消耗品費	757,000			757,000	80,295	676,705	10.6%
印刷製本費	113,000			113,000	0	113,000	0.0%
委託費	2,752,000			2,752,000	2,098,975	653,025	76.3%
人件費	2,265,000			2,265,000	2,111,977	153,023	93.2%
事業費合計(円)	5,999,000			5,999,000	4,357,137	1,641,863	72.6%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
自主事業収益	3,560,000			3,560,000	1,958,900	1,601,100	55.0%
合計(円)	3,560,000			3,560,000	1,958,900	1,601,100	55.0%

事業総合評価

アンケート評価基準

参加率	回収率	アンケート	回答パターン	ポイント
-	90.4%	4	満足	5
			ほぼ満足	4
			普通(どちらともいえない)	3
			やや不満	2
			不満	1
			分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	実施講座数は前年度比減であり、当該年度目標値に大きく不足。 アンケート調査実施講座のみの平均値であるが、実施事業については概ね好評である。 今後の学習希望等も集計しており、今後の企画運営の参考とする。
---------------	---	--

No.	団体名	事業名	実施			実績	
			日	曜日	時	参加	
1	新宿区花道茶道協会	子どもいけばな茶の湯教室	第2号事業「ライフアップ講座」として実施				
2	特定非営利活動法人投資と学習を普及する会	証券投資入門講座	子育てにおける教育資金運用	9月30日	木	10:00～12:00	5
			生活設計と金融商品 ～トラブルに巻き込まれないために～	10月2日	土	10:00～12:00	1
			退職後の生活設計と資産運用	10月16日	土	10:00～12:00	8
			これから投資してみたいあなたに	10月9日	土	10:00～12:00	1
				10月30日	土	10:00～12:00	6
				10月7日	土	10:00～12:00	9
				11月6日	木	19:00～20:30	19
			基礎知識とリスクについて	10月14日	土	10:00～12:00	11
				11月13日	木	19:00～20:30	17
			新聞経済面の見方・読み方	10月21日	土	10:00～12:00	12
				11月20日	木	19:00～20:30	20
			会社情報の捉え方	11月4日	土	10:00～12:00	13
	11月27日	木	19:00～20:30	22			
株価の動きについて	11月11日	土	10:00～12:00	8			
	12月4日	木	19:00～20:30	18			
昨今の経済情勢と投資	11月18日	土	10:00～12:00	9			
	12月11日	木	19:00～20:30	18			
投資の実際	11月25日	土	10:00～12:00	10			
	12月18日	木	19:00～20:30	17			
3	宇宙航空研究開発機構宇宙教育センター	宇宙教育指導者セミナー	「大人向け・宇宙の学校」宇宙教育指導者セミナー			3月5日 土 9:30～17:00 96	
4	株式会社スポーツピズ	はじめてフェンシング教室(太田雄貴杯)	希望日に確保可能施設なし、他自治体で開催。				
5	東京青年会議所新宿区委員会	第3回新宿ワールドネットワーク	第3回新宿ワールドネットワーク			8月7日 土 10:00～15:00 442	
6	MIPスポーツプロジェクト	スポーツゲームズ	第3号事業「トップアスリートと区民の交流事業」として実施				
7	株式会社プロスタッフ・協栄	シェイプボクシングフェスティバル2010	連携見送り、連携者独自事業として実施。				
8	株式会社サンライズプロモーション東京	「東京スカパラダイスオーケストラ」公演共催	第1回目審査...審査保留 第2回目審査...連携見送り				
9	有限会社ジー企画	合唱団の運営「戦争レクイエム」合唱団	戦争レクイエム合唱団	定期練習	9月1日	水曜夜間等	3,893
					～3月10日	30回	
				パート・セクション練習	9月13日	月曜夜間等	728
		～1月31日	16回				
		本番(地震のため中止)		木	9:30～17:00		
10	早稲田大学交響楽団	新宿文化センター・早稲田大学交響楽団フランチャイズ事業	秋季定期演奏会への区民招待	9月30日	月	19:00～21:00	129
			文化センターまつりにおける演奏	11月6日	土	10:00～17:00	1,200
11	くらしの経済サポートセンター	くらしの経済ナットク講座	エイブリスと比較し参加料有料なため審査見送り、第7号事業「消費者講座」として実施				
12	公益財団法人損保ジャパン美術財団	11月の対話式美術鑑賞会「ウフィツィ美術館自画像コレクション」	対話式美術鑑賞会「ウフィツィ美術館自画像コレクション」	11月8日	月	14:00～15:30	21
						16:00～17:30	20
13	エンの会	たのしく学ぼう算数図形教室	審査見送り(2回) その後辞退連絡有				
14	NHK	NHK文化講演会	「生誕100年岡本太郎展」関連文化講演会	2月11日	金祝	14:00～15:40	96
			「白洲正子 神、仏、自然への祈り」関連文化講演会	3月21日	月祝	14:00～15:45	99

企画検討件数	14	
実施件数	7	
実施講座数	18	
実施回数	36	
延べ定員数	1,393	
延べ応募者数	820	参加者数内訳
延べ参加者数	6,951	連携共催 2,135
1回あたりの平均参加者数	193.1	合唱団 4,621
平均満足度	4.27	文化講演会 195

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-4		
コミュニティスポーツ大会		開催日時	中央大会12月12日(日)				
		参加料設定	無料 四谷地区大会のみ一般1チーム¥700				
内容	区内10地区及び地区代表による中央大会において、輪投げ・ビーチボールバレー・ユニカール等の種目による大会を実施し、地域での生涯スポーツを振興する。また、地域住民による運営を行なうことで、地域住民の交流機会とし、地域社会の活性化を図る。						
事業区分	1主催事業	対象者	区民				
	2補助事業	会場	地区大会...各地区内小中学校等				
関係団体	各地区実行委員会 青少年活動推進委員会、体育指導委員協議会、青少年育成委員会、PTA、地区協議会、地区町会連合会等		部屋名	中央大会...新宿コスミックセンター大小体育室等			
			指導員・講師等	中央大会については各地区実行委員より推薦の運営役員、体育指導委員に審判を依頼			
周知	方法	備考		地区大会	2,619人(572チーム) ほかに地域での実行委員会参加者531人		
	広報紙、および各地区ごとにポスター等 1主催事業			中央大会	313人(85チーム) ほかに地域からの実行委員会参加者59人		
申込み	方法	期間		延べ	2,932人(657チーム) 実行委員会等参加者590人		
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		7号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	3,780,000	2,681,071	3,549,000	3,103,961	445,039	87.5%
(2)	人件費(円)		7,179,057	3,395,000	3,173,173	221,827	93.5%
(3)	総事業費(1)+(2)	3,780,000	9,860,128	6,944,000	6,277,134	666,866	90.4%
(4)	事業収益(円)	0	0	0	0	0	0.0%
(5)	財源充当額(3)-(4)	3,780,000	9,860,128	6,944,000	6,277,134	666,866	90.4%
(6)	延べ参加者数	2,742	2,895	3,000	2,932	68	97.7%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	1,379	3,406	2,315	2,141	174	92.5%
【目的】 地域でのスポーツ活動の振興を図るとともに、各地域の住民が、お互いに協力して大会の運営を行なうことにより、住民同士の交流を促し、帰属意識を高め、地域社会の活性化を図る。							
【目標・成果指標】 成果指標...参加者数3,000名 1 各地域に住民による実行委員会を組織し、実行委員会と出張所・財団の協働によって、地域の特性に合った事業を主体的に展開することができるよう財団地区担当がコーディネーターとして支援を行い、運営体制の強化と積極的な住民参加を目指す。 2 幅広い年齢層が参加できる種目を設定し、地域における世代間交流を促す。							
【課題】 1 より多くの地域団体・個人を取り込んだ実行委員会の組織。 2 若年層の参加を促進し世代間交流を促すための地区大会および中央大会での新種目設定。 3 参加者数を増やすための周知強化。 4 地域ぐるみの行事にするため、地区担当のコーディネートにより新たな参画団体・地域スポーツ文化協議会を取り込んだ実行委員会組織と大会運営の実施。							
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率: 97.7%(2,932人/3,000人) 前年度比: 101.3%(2,932/2,895) < 内訳・内容 > 別紙参照 1 概要 6月頃より、各地区大会実行委員会実施。 7月頃より、各地区大会実施に向けて参加者募集等周知、開催準備。 9~11月、各地区大会実施。 12月12日(日)中央大会実施。							
【今後の課題】 1 地区大会への新規参加者拡大による地域活性化。 2 PTAスポーツ大会等の地域行事との実施時期調整、ならびに連携。 3 地域スポーツ文化事業や学校施設開放利用団体等との定期的な生涯スポーツ活動との連動。 4 地区大会実施時期前の各地域内での生涯スポーツ促進。 5 経年劣化傾向にあるスポーツ用品の更新。 6 他の地域開催財団事業や地域主催行事・活動に対する地区担当の関わり強化。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
会議費	59,000			59,000	45,500	13,500	77.1%
通信運搬費	40,000			40,000	18,480	21,520	46.2%
消耗品費	577,000			577,000	572,566	4,434	99.2%
印刷製本費	70,000			70,000	49,350	20,650	70.5%
保険料	10,000			10,000	0	10,000	0.0%
諸謝金	150,000			150,000	118,000	32,000	78.7%
委託費	2,223,000			2,223,000	1,968,790	254,210	88.6%
固定資産取得費	420,000			420,000	331,275	88,725	78.9%
人件費	3,395,000			3,395,000	3,173,173	221,827	0.0%
事業費合計(円)	6,944,000			6,944,000	6,277,134	666,866	90.4%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

アンケート評価基準

参加率	回収率	アンケート	回答パターン	ポイント
-	-	-	満足	5
			ほぼ満足	4
			普通(どちらともいえない)	3
			やや不満	2
			不満	1
			分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	各地区実行委員会へ地区担当者が出席し、地区実行委員会との連携により、各地区大会の実施下。各地区大会の日程・会場を広報紙にて周知し、各地域住民への参加を呼びかけ、地域コミュニティの構築に寄与した。
---------------	---	---

コミュニティスポーツ大会 実績統計

地区名	平成22年度							
	日時会場	参加者数 チーム数						その他
		延	前年度増減	輪投げ		ユニカール	ビーチボールバレー	
50歳以上	一般							
四谷地区	10月17日(日)	277名	87.94% (315名)	81	48	42	61	45
	四谷中学校			27	16	14	8	15
箆笥地区	11月21日(日)	276名	155.06% (178名)	27	25	33	33	158
	牛込第一中学校			8	9	11	5	
榎地区	10月31日(日)	107名	101.90% (105名)	37	12	30	28	
	早稲田小学校			12	4	10	4	
若松地区	10月17日(日)	292名	108.15% (270名)	243	0	20	29	
	余丁町小学校・若松地域センター			81	0	6	4	
大久保地区	10月31日(日)	614名	87.22% (704名)	120	72	27	72	323
	大久保小学校			40	22	9	9	
戸塚地区	10月24日(日)	124名	94.66% (131名)	57	14	25	28	
	戸塚第二小学校・幼稚園			19	4	8	4	
落合第一地区	11月3日(祝)	333名	100.60% (331名)	90	23	81	139	
	落合中学校			30	8	27	17	
落合第二地区	10月31日(日)	195名	130.87% (149名)	57		21	35	82
	落合第三小学校			19		7	5	22
柏木地区	10月24日(日)	298名	124.17% (240名)	93		45	60	100
	西新宿中学校			31		15	6	10
角筈地区	11月14日(日)	103名	78.63% (131名)	36		35	32	
	西新宿小学校			12		10	4	
中央大会	12月12日(日)	313名	91.79% (341名)	90	62	78	83	
	新宿コズミックセンター			30	19	26	10	
合計		2,932名	101.28% (2895名)	931	256	437	600	708
				309	82	143	76	47

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	7-5		
地域活力推進事業		開催日時	土・日・祝日、学校夏休み・冬休み、夜間等				
		参加料設定	各プログラムによる				
内容	学校を地域財産として開放・活用。地域コミュニティの醸成に寄与するため、学校施設の総合的な利用調整を行いつつ、地域コミュニティの活性化を図る総合型地域スポーツ・文化クラブの育成、学校施設開放、学校プール開放を行う。						
事業区分	1 主催事業	対象者	区内在住・在学・在勤の方等。				
	3 受託事業	会場	区立小中学校他				
関係団体	地域団体・地域スポーツ文化事業協議会等	部屋名	校庭・体育館・プール等				
		指導員・講師等	関係団体より紹介・派遣など				
周知	方法	備考			定員(延べ)	団体	
	広報紙他 チラシなど				応募者数		
申込み	方法	期間			参加者数	団体	
		4月1日～平成23年3月31日				延べ	412,523人
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			7号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	153,249,000	128,911,282	145,395,000	124,488,103	20,906,897	85.6%
(2)	人件費(円)	-	22,967,968	6,406,000	6,005,345	400,655	93.7%
(3)	総事業費 (1)+(2)	153,249,000	151,879,250	151,801,000	130,493,448	21,307,552	86.0%
(4)	事業収益	0	0	0	0	0	-
(5)	財源充当額 (3)-(4)	153,249,000	151,879,250	151,801,000	130,493,448	21,307,552	86.0%
(6)	延べ参加者数	335,969	445,984	446,429	412,523	33,906	92.4%
(7)	単位費用(円) (5)/(6)	456	341	340	316	628	93.0%
<p>【目的】 1 学校を拠点として地域コミュニティの活性化を図るため、利用者数増、多種多様な団体・個人による利用・事業参加を促進。2 住民自らが参画者として施設の利用調整・事業提供を行う仕組み(総合型地域スポーツ・文化クラブ)の育成を推進する。3 学校を地域の財産として位置づけ、より多くの区民の生涯学習の場、地域住民の拠り所とするため、開放事業を推進する。</p> <p>【目標・成果指標】 地域コミュニティの醸成・活性化を図るため、学校施設を地域の財産として活用し、多種多様な団体・個人による施設利用、施設を活用した地域住民向け事業参加を促進する中で、地域住民自らが参画者として施設の利用調整・事業提供を行う仕組み(総合型地域スポーツ・文化クラブ)構築のためのコーディネート。成果指標 - 利用者数前年度比1%増。広報周知による多種多様な利用者の増、財団事業との連携調整、地域団体等による事業参画。他自治体の同様事業の実態調査実施、利用区分の再検討、放課後子どもひろば新設校でのプール開放増。</p> <p>【課題】 1 多種・多様な団体・個人による学校施設利用の促進。財団広報紙による周知。2 利用・参加から参画への機運作り、参画者を増やすための仕組みづくり。3 利用機会増加の促進。放課後子どもひろば実施校でのプール開放推進。4 学校施設を安全・快適に活用するための環境整備。</p> <p>【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率:92.4%(412,523人/446,429人)、前年度比:92%(445,984人/412,523人) 1 地域団体・施設活用団体との連携事業実施 - 達成率:150%(3団体/2団体)、前年度比:150%(3団体/2団体)。2 施設利用件数 - 達成率:137%(22,834件/16,626件)、前年度比:110%(22,834件/20,705件)。3 放課後子どもひろばでのプール開放数増 - 達成率:100%(19校/19校)、前年度比:158%(19校/12校) < 内訳・内容 > 1 財団広報紙による各地区のプログラム周知。2 四谷中学校学校開放管理の一部を地域団体の手による学校開放施設管理をコーディネート。(H23から実施予定)。3 放課後ひろば実施校全校でのプール開放の実施(工事による中止を除く19校)。学校プール開放運営の地域団体受託推進。4 学校施設の利用について、団体に対し施設利用にあたっての注意文書を配布、利用者マナーの向上を図った。5 利用人数:地域スポーツ・文化事業=89,863人、学校開放=312,884人、学校プール開放=9,776人。</p> <p>【今後の課題】 1 現在行われている地域スポーツ・文化事業において、旧運営主体間の融合が不十分。2 地域スポーツ・文化事業への参加者が一部の住民に限られている。3 事業(地域向けプログラム)実施にあたり、学校施設活用利用団体との連携が進んでいない。4 地域団体へ事業参加の呼びかけが不十分。5 利用から参画へ地域の様々な団体・個人を巻き込んだ利用調整・事業提供の仕組みづくりが必要。6 開放事業推進のため、夏休みも子どもが学校に集まる「放課後子どもひろば」実施校でのプール開放推進。7 円滑な開放実施のための関係部署・学校との調整。8 プール開放事業の地域受託推進のための研修等による人材育成。9 学校施設を安全・快適に活用するための基盤整備。</p>							

支出・収益内訳(財源別)

【受託事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	214,000			214,000	105,772	108,228	49.4%
消耗品費	6,666,000		104,000	6,562,000	4,192,484	2,369,516	63.9%
修繕費	2,550,000			2,550,000	945,945	1,604,055	37.1%
印刷製本費	465,000			465,000	32,550	432,450	7.0%
燃料費	33,000			33,000	0	33,000	0.0%
使用料及び賃借料	211,000			211,000	181,662	29,338	86.1%
諸謝金	614,000			614,000	246,000	368,000	40.1%
支払負担金	82,000			82,000	76,000	6,000	92.7%
保険料	0		104,000	104,000	103,730	270	99.7%
委託費	134,280,000			134,280,000	118,351,960	15,928,040	88.1%
支払手数料	280,000			280,000	252,000	28,000	90.0%
人件費支出	6,406,000			6,406,000	6,005,345	400,655	93.7%
事業費合計(円)	151,801,000		0	151,801,000	130,493,448	21,307,552	86.0%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
区受託料収益	151,801,000			151,801,000	130,493,448	21,307,552	86.0%
合計(円)	151,801,000			151,801,000	130,493,448	21,307,552	86.0%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1学校施設の管理を地域団体・人材で行うようコーディネートし、平成23年度より四谷中学校学校施設管理の一部を地域団体が請け負うこととなった。 2 学校施設開放においては、利用件数が増加し、より多くの生涯学習の場を提供することができた。 3 学校プール開放を放課後子どもひろば全19校を含む26校で実施。その内12校の運営を地域団体が受託。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	7-5-(1)		
(1)総合型地域スポーツ・文化クラブ育成事業		開催日時	土・日・祝日等				
		参加料設定	各プログラムによる				
内容	地域コミュニティの結束と「住民自治」意識の醸成につなげるため、学校施設等を活用しながら、地域住民手作りのスポーツ・文化事業を実施する。財団の各地区担当が、地区の現状に即したきめ細やかな支援を随時行っていく。						
事業区分	1 主催事業	対象者	区内在住・在学・在勤の方				
	3 受託事業	会場	区立小中学校他				
関係団体	地域団体・地域スポーツ文化事業協議会等	部屋名	校庭・体育館等				
		指導員・講師等	関係団体より紹介・派遣など				
周知	方法	備考			定員(延べ)	団体	
	広報紙他 チラシなど				応募者数	団体	
申込み	方法	期間			参加者数	89,863人	
		4月1日～平成23年3月31日			延べ	89,863人	
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			7号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	34,577,000	20,065,526	25,805,000	19,288,674	6,516,326	74.7%
(2)	人件費(円)	-	5,050,935	748,000	716,723	31,277	95.8%
(3)	総事業費(1)+(2)	34,577,000	25,116,461	26,553,000	20,005,397	6,547,603	75.3%
(4)	事業収益	0	0	0	0	0	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	34,577,000	25,116,461	26,553,000	20,005,397	6,547,603	75.3%
(6)	延べ参加者数	72,835	83,743	83,743	89,863	6,120	107.3%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	475	300	317	223	1,070	70.2%
<p>【目的】 1 土・日・祝日、夜間及び長期休業中の区立小・中学校を地域の財産として活用し、地域コミュニティの醸成・活性化に寄与する。2 地元団体や生涯学習団体の参画、放課後子どもひろばとの連携促進。学校施設の総合的な利用調整及び地域住民を対象とした事業を統一的に展開する住民組織の育成。</p> <p>【目標・成果指標】 地域コミュニティの醸成・活性化を図るため、学校施設を地域の財産として活用し、多種多様な団体・個人による施設利用、施設を活用した地域住民向け事業参加を促進する中で、地域住民自らが参画者として施設の利用調整・事業提供を行う仕組み(総合型地域スポーツ文化クラブ)構築のためのコーディネート。成果指標-1 2地区で地域団体・施設活用団体との連携事業の実施。2 広報周知による多種多様な利用者の増。3 学校施設の利用調整及び地域住民を対象とした事業を統一的に展開する組織づくりのための地域人材の発掘・育成。4 財団地区担当制度の活用における地域における効果的な財団事業実施のための調整。5 地域団体、施設活用団体による地域住民向け事業実施のためのコーディネート。</p> <p>【課題】 1 総合型地域スポーツ・文化クラブ育成のため、区内で10の地域スポーツ文化協議会が活動しているが、協議会内での事業間融合が十分とはいえない。また、事業参加者も実施場所となる学校の生徒、保護者などある程度特定された範囲での参加者になっている場合があり、多様な地域団体・個人の参加が十分とはいえない状況にある。2 総合型地域スポーツ・文化クラブは、自主財源による運営を原則とするが、現在の地域スポーツ文化事業は委託料をもとに実施されており、自主財源の獲得、地域のボランティアによる事業実施が十分とはいえない。</p> <p>【今年度の結果】 地域団体・施設活用団体との連携事業実施(連携団体数) <成果指標に対する実績> 達成率: 150%(3地区/2地区) 前年度比:150%(3地区/2地区) <内訳・内容> 1 財団広報紙による各地区のプログラム周知。2 学校ごとに行っていた事業周知を協議会単位で内容をとりまとめたチラシを作成・配布する地域が出てきた(四谷・落二・筆筈)。3 各学校ごとに行っていたイベントを協議会単位で実施する地域が出てきた(四谷)。4 放課後ひろば事業でのプログラム実施(若松・柏木・筆筈)。5 地区協議会・施設開放団体と連携した事業実施の実施(淀橋KaTクラブ・筆筈地区・四谷地区)。6 参加料・保険料を徴収する地域スポーツ文化事業の実施(筆筈・落合等)。7 平成23年度に向け、地域スポーツ・文化事業委託の契約内容を見直した。8 学校施設の管理を地域団体・人材で行うようコーディネートし、平成23年度より四谷中学校学校施設管理の一部を地域団体が請け負うこととなった。9 地域スポーツ・文化事業実績:参加者数 89,863人(大人31,636人、子ども58,227人)。実施回数3,537回</p> <p>【今後の課題】 1 現在行われている地域スポーツ・文化事業において、旧運営主体間の融合が不十分。2 地域スポーツ・文化事業への参加者が一部の住民に限られている。3 事業(地域向けプログラム)実施にあたり、学校施設活用利用団体との連携が進んでいない。4 地域団体へ事業参加の呼びかけが不十分。5 総合型地域スポーツ・文化クラブの設立及び地域活力推進事業を進めるうえで、地区担当者としての地域及び地域団体への係わり方や役割が確立されていない。</p>							

支出・収益内訳(財源別)

【受託事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	72,000			72,000	0	72,000	0.0%
消耗品費	1,681,000		104,000	1,577,000	154,942	1,422,058	9.8%
保険料	0		104,000	104,000	103,730	270	99.7%
委託費	23,800,000			23,800,000	18,778,002	5,021,998	78.9%
支払手数料	252,000			252,000	252,000	0	100.0%
人件費	748,000			748,000	716,723	31,277	95.8%
事業費合計(円)	26,553,000		0	26,553,000	20,005,397	6,547,603	75.3%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
区受託料収益	26,553,000			26,553,000	20,005,397	6,547,603	75.3%
合計(円)	26,553,000			26,553,000	20,005,397	6,547,603	75.3%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 学校ごとに行っていた事業周知を協議会単位で内容を取りまとめたチラシを作成・配布する地域が出てきた。2 各学校ごとに行っていたイベントを協議会単位で実施する地域が出てきた。3 学校施設の管理を地域団体・人材で行うようコーディネートし、平成23年度より四谷中学校学校施設管理の一部を地域団体が請け負うこととなった。
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	7-5-(2)		
地域活力推進事業 (2)学校施設活用推進事業		開催日時	4月1日～平成23年3月31日 年末年始・学校利用時間等を除く				
		参加料設定	なし(夜間校庭については照明料金を施設管理員経由で区に納付)				
内容	1 学校施設活用 区立小・中学校を生涯学習スポーツ活動の場として開放する。2 学校プール開放 夏休み中の区立学校のプールを住民に開放し、学校を地域住民の拠り所とする。また、運営に当たっては、住民組織による運営を推進する。						
事業区分	1 主催事業 3 受託事業	対象者	区内在住・在勤者及び区内小中学校在学者。その同伴者				
関係団体	学校施設活用 運営委員会	会場	区立小学校・中学校、新宿養護学校 旧四谷第三小学校体育館 旧淀橋第二中学校開放可能施設				
周知	方法 施設ガイド 財団ホームページ	備考		定員(延べ)	なし 団体		
	方法	期間	定員(延べ)	応募者数 団体			
申込み	施設活用: 運営委員会及びインターネットシステム プール開放: 各校開放受付へ申込書提出	施設活用: 運営委員会は毎月2ヵ月前の26日、インターネットシステムは毎月5日から18日 プール開放: 各校開放期間中	参加者数	団体 322,660人			
	延べ						
歳出科目	会計 公益目的事業会計	大科目 事業費支出	中科目 7号事業費支出				
単位費用	前年度決算値		今年度決算値				
項目	予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比	
(1) 事業費(円)	118,672,000	108,845,756	119,590,000	105,199,429	14,390,571	88.0%	
(2) 人件費(円)	-	17,917,033	5,658,000	5,288,622	369,378	93.5%	
(3) 総事業費 (1)+(2)	118,672,000	126,762,789	125,248,000	110,488,051	14,759,949	88.2%	
(4) 事業収益	0	0	0	0	0	-	
(5) 財源充当額 (3)-(4)	118,672,000	126,762,789	125,248,000	110,488,051	14,759,949	88.2%	
(6) 延べ参加者数	-	362,241	362,241	322,660	39,581	89.1%	
(7) 単位費用(円) (5)/(6)	-	350	346	342	373	99.0%	
【目的】 1 土・日・祝日、夜間及び長期休業中の区立小・中学校を地域の財産として活用し、地域コミュニティの醸成・活性化に寄与する。2 学校施設を活用し、生涯学習活動の場を提供するとともに、地域に根付いた活動を推進し、地域コミュニティの拡大に寄与する。							
【目標・成果指標】 1 学校を地域の財産として位置づけ、より多くの区民の生涯学習活動の場、地域住民の拠り所とするため、開放事業を推進する。2 学校施設の総合的な利用調整を地域住民の手にゆだね、相互調整を図るなかで地域コミュニティの形成を図る(総合型地域スポーツ・文化クラブ)。3 プール開放の地域団体受託を推進し、プール利用を介した地域住民間のコミュニケーションを推進する。4 成果指標 学校施設開放: 利用件数16,626 プール開放: 放課後子どもひろば実施校全校開放。							
【課題】 1 多様な団体・個人利用の促進。2 利用・参加から参画と地域の様々な団体・個人を巻き込んだ利用調整・事業提供の仕組みづくりのためのコーディネート。3 開放事業推進のため、夏休みも子どもが学校に集まる「放課後子どもひろば」実施校でのプール開放を推進する。円滑な開放実施のための関係部署・学校との調整。4 プール開放事業の地域受託推進のための研修等による人材育成。5 学校施設を安全・快適に活用するための基盤整備。							
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 1 施設活用 達成率: 137.3%(22,834件 / 16,626件)、前年度比: 110.3%(22,834件 / 20,705件) 2 プール開放 達成率: 100% (19校 / 19校) 放課後子どもひろば実施校全校開放(工事による中止を除く) < 内訳・内容 > 1 学校施設活用 - (1) 主管課等と協議の上、学校施設の利用規則を改めて周知し、規則の遵守徹底と使用状況の改善を促すための依頼文を作成した。また、利用団体に配布することで、利用者マナーの向上を図った。(2) 主管課、小中学校副校長会、教育委員会事務局との情報交換会を実施し、課題解決を図った。(3) 学校施設の管理を地域団体・人材で行うようコーディネートし、平成23年度より四谷中学校学校施設管理の一部を地域団体が請け負うこととなった。学校施設開放: 282,685人 校庭スポーツ開放: 21,127人 体育館夜間個人開放: 9,072人 2 学校プール開放 - (1) 「放課後子どもひろば」実施校全校(校舎等工事による開放不可能校除く19校)において、一般開放を行った。(2) 例年利用者の多い、牛込仲之小・花園小・落合第三小で午後の開放を16時まで延ばした結果、利用者増となった。(3) 地域スポーツ文化協議会及び区水泳連盟に働きかけを行い、26校中12校において、地域団体が運営することとなった。(前年度同数)。また、受託にあたり地域団体へ水上安全管理講習会を実施した。(開放校数) 26校(夜間開放1校含む) 前年度27校(夜間開放1校含む)、(開放日数) 276日 前年度268日、(参加者数) 9,776名 【今後の課題】 1 開放に消極的な学校に働きかけ、より一層の開放増を進める。2 施設活用運営委員会を通して、より公平な利用調整を進める。3 地域団体による学校施設管理を支援する。4 「放課後子どもひろば」実施校でのプール開放を推進する。5 利用率や実施校の分布状況、施設条件を勘案し、既存の開放校についても日数等の見直しを検討する。6 プール開放地域受託増のため、監視主任資格について検討する。							

支出・収益内訳(財源別)

【受託事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	142,000			142,000	105,772	36,228	74.5%
消耗品費	4,985,000			4,985,000	4,037,542	947,458	81.0%
修繕費	2,550,000			2,550,000	945,945	1,604,055	37.1%
印刷製本費	465,000			465,000	32,550	432,450	7.0%
燃料費	33,000			33,000	0	33,000	0.0%
使用料及び賃借	211,000			211,000	181,662	29,338	86.1%
諸謝金	614,000			614,000	246,000	368,000	40.1%
支払負担金	82,000			82,000	76,000	6,000	92.7%
委託費	110,480,000			110,480,000	99,573,958	10,906,042	90.1%
支払手数料	28,000			28,000	0	28,000	0.0%
人件費	5,658,000			5,658,000	5,288,622	369,378	93.5%
事業費合計(円)	125,248,000			125,248,000	110,488,051	14,759,949	88.2%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
区受託料収益	125,248,000			125,248,000	110,488,051	14,759,949	88.2%
合計(円)	125,248,000			125,248,000	110,488,051	14,759,949	88.2%

事業総合評価

アンケート評価基準

参加率	回収率	アンケート

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	4	1 学校施設開放においては、利用件数が増加し、より多くの生涯学習の場を提供することができた。 2 プール開放では、「放課後子どもひろば」実施の全校で実施した。昨年度のアンケート結果をもとに、3校で午後の開放時間を延長した結果、利用者増となった。また、地域スポーツ文化事業と連携し、開放期間中に水泳教室、シュノーケリング教室を開催した。
---------------	---	--

学校施設開放 上半期利用実績一覧 (平成22年度 4月～9月)																	
	学校名	学校施設開放 (運営委員会・インターネット)				校庭スポーツ 開放						体育館 夜間個人開放				合計	
		大人	子ども	合計	予約区分数	大人	子ども	合計	予約区分数	開放種数	種目	大人	子ども	合計	予約区分数	予約区分数	人数(合算)
1	津久戸小	1,349	93	1,442	170											170	1,442
2	江戸川小	1,569	1,208	2,777	236											236	2,777
3	市谷小	2,266	62	2,328	173											173	2,328
4	愛日小	2,810	884	3,694	223											223	3,694
5	早稲田小	3,447	1,849	5,296	282											282	5,296
6	鶴巻小	2,566	867	3,433	273											273	3,433
7	牛込仲之小	2,610	2,721	5,331	343											343	5,331
8	富久小	3,137	194	3,331	227											227	3,331
9	余丁町小	1,486	13	1,499	207											207	1,499
10	東戸山小	2,475	1,712	4,187	259	30	70	100	10	24	小学生野球					269	4,287
11	四谷小	3,540	871	4,411	331	164	391	555	34	40	小学生サッカー					365	4,966
12	四谷第六小	3,263	334	3,597	260											260	3,597
13	花園小	5,293	0	5,293	389	54	61	115	2	22	少年サッカー					391	5,408
14	大久保小	1,986	0	1,986	173											173	1,986
15	天神小	2,451	257	2,708	317											317	2,708
16	戸山小	3,100	251	3,351	214											214	3,351
17	戸塚第一小	3,397	424	3,821	275											275	3,821
18	戸塚第二小	2,813	216	3,029	264											264	3,029
19	戸塚第三小	2,560	764	3,324	248											248	3,324
20	落合第一小	2,949	2,366	5,315	242											242	5,315
21	落合第二小	3,017	1,463	4,480	332											332	4,480
22	落合第三小	3,484	2,580	6,064	359											359	6,064
23	落合第四小	3,260	1,635	4,895	318											318	4,895
24	落合第五小	2,798	891	3,689	294											294	3,689
25	落合第六小	3,084	757	3,841	332											332	3,841
26	淀橋第四小	2,052	0	2,052	238											238	2,052
27	柏木小	2,548	1,618	4,166	293											293	4,166
28	西新宿小	4,877	729	5,606	475	6	14	20	12	45	少年サッカー					487	5,626
29	西戸山小	3,686	1,692	5,378	383											383	5,378
30	旧四谷第三小	5,301	0	5,301	384											384	5,301
31	牛込第一中	185	202	387	212							869	50	919	74	286	1,306
32	牛込第二中	1,775	19	1,794	144	269	123	392	46	48	小学生ソフト					190	2,186
33	牛込第三中	1,736	4	1,740	189	1,186	484	1,670	98	154	一般野球・ サッカー・女 性ソフト					287	3,410
34	四谷中	698	0	698	174	973	726	1,699	216	311	一般サッカー・ 区民その他	1,101	4	1,105	92	482	3,502
35	西早稲田中	3,229	16	3,245	298	4,196	104	4,300	151	170	サッカー・女 性ソフト・少年 野球					449	7,545
36	落合中	3,872	1,069	4,941	316	187	57	244	100	117	一般テニス・ 少年サッカー					416	5,185
37	落合第二中	2,440	1,288	3,728	310											310	3,728
38	西新宿中	3,878	0	3,878	485	188	0	188	90	102	一般テニス					575	4,066
39	新宿中	2,576	387	2,963	240	367	872	1,239	56	62	小学生サッ カー	1,686	267	1,953	120	416	6,155
40	西戸山中	470	13	483	52	348	0	348	24	24	クラウンドゴルフ	1,323	11	1,334	119	195	2,165
41	西戸山第二中	404	967	1,371	63											63	1,371
42	新宿養護学校	1,743	0	1,743	167											167	1,743
総合計		112,180	30,416	142,596	11,164	7,968	2,902	10,870	617	1,119		4,979	332	5,311	405	12,186	158,777

学校施設開放 下半期利用実績 (平成22年度 10月～3月実績)

No.	学校施設開放					校庭スポーツ開放						体育館 夜間個人開放				合計		年間合計		
	学校名	大人	子ども	合計	使用回 数	開放種 数	大人	子ども	合計	予約区分 数	開放種 数	種目	大人	子ども	合計	予約区分 数	予約区分 人数(合算)	予約区分 人数(合算)	人数(合算)	
1	津久戸小	1,106	5	1,111	227	447	0	0	0	0	0		0	0	0	0	227	1,111	397	2,553
2	江戸川小	2,527	2,323	4,850	248	501	0	0	0	0	0		0	0	0	0	248	4,850	484	7,627
3	市谷小	1,933	42	1,975	186	601	0	0	0	0	0		0	0	0	0	186	1,975	359	4,303
4	愛日小	1,800	1,269	3,069	197	357	0	0	0	0	0		0	0	0	0	197	3,069	420	6,763
5	早稲田小	5,045	3,860	8,905	326	847	0	0	0	0	0		0	0	0	0	326	8,905	608	14,201
6	鶴巻小	2,394	905	3,299	257	864	0	0	0	0	0		0	0	0	0	257	3,299	530	6,732
7	牛込仲之小	1,918	1,593	3,497	253	427	0	0	0	0	0		0	0	0	0	253	3,497	596	8,828
8	富久小	2,078	400	2,473	201	558	0	0	0	0	0		0	0	0	0	201	2,473	428	5,804
9	余丁町小	1,325	40	1,365	190	419	0	0	0	0	0		0	0	0	0	190	1,365	397	2,864
10	東戸山小	1,834	1,385	3,219	205	522	125	239	364	8	8	小学生野球	0	0	0	0	213	3,583	482	7,870
11	四谷小	2,840	948	3,291	223	462	178	312	490	28	34	小学生サッカー	0	0	0	0	251	3,781	616	8,747
12	四谷第六小	2,956	309	3,265	228	644	0	0	0	0	0		0	0	0	0	228	3,265	488	6,862
13	花園小	3,737	672	4,409	246	792	11	23	15	3	16	少年サッカー	0	0	0	0	249	4,424	640	9,832
14	大久保小	2,040	0	2,040	192	1,137	0	0	0	0	0		0	0	0	0	192	2,040	365	4,026
15	天神小	2,157	450	2,607	263	445	0	0	0	0	0		0	0	0	0	263	2,607	580	5,315
16	戸山小	2,407	237	2,644	199	338	0	0	0	0	0		0	0	0	0	199	2,644	413	5,995
17	戸塚第一小	2,601	301	2,902	246	258	0	0	0	0	0		0	0	0	0	246	2,902	521	6,723
18	戸塚第二小	2,073	127	2,200	214	415	0	0	0	0	0		0	0	0	0	214	2,200	478	5,229
19	戸塚第三小	2,765	1,274	4,039	252	578	0	0	0	0	0		0	0	0	0	252	4,039	500	7,363
20	落合第一小	2,875	3,169	6,044	235	552	0	0	0	0	0		0	0	0	0	235	6,044	477	11,359
21	落合第二小	2,072	1,033	3,105	216	258	0	0	0	0	0		0	0	0	0	216	3,105	548	7,585
22	落合第三小	2,075	2,214	4,289	253	448	0	0	0	0	0		0	0	0	0	253	4,289	612	10,353
23	落合第四小	3,356	2,089	5,417	290	837	0	0	0	0	0		0	0	0	0	290	5,417	608	10,312
24	落合第五小	2,220	1,013	3,233	241	601	0	0	0	0	0		0	0	0	0	241	3,233	535	6,922
25	落合第六小	2,543	792	3,335	268	504	0	0	0	0	0		0	0	0	0	268	3,335	600	7,176
26	淀橋第四小	1,954	0	1,954	215	880	0	0	0	0	0		0	0	0	0	215	1,954	453	4,006
27	柏木小	2,019	1,533	3,552	216	624	0	0	0	0	0		0	0	0	0	216	3,552	509	7,718
28	西新宿小	4,429	1,123	5,546	377	606	110	323	433	22	31	少年サッカー	0	0	0	0	399	5,979	886	11,605
29	西戸山小	3,175	1,348	4,523	294	598	0	0	0	0	0		0	0	0	0	294	4,523	677	9,901
30	旧四谷第三小	5,111	135	5,237	361	459	0	0	0	0	0		0	0	0	0	361	5,237	745	10,538
31	牛込第一中	599	600	1,199	89	184	0	0	0	0	0		634	3	637	63	152	1,836	438	3,142
32	牛込第二中	1,301	188	1,489	156	186	225	172	397	35	36	小学生ソフト	0	0	0	0	191	1,886	381	4,072
33	牛込第三中	2,505	303	2,772	212	264	1,376	355	1,731	70	131	一般野球・サッカー・女性ソフト	0	0	0	0	282	4,503	569	7,913
34	牛込第三中 校庭スポーツ開放 (昼間)	0	0	0	0	2	144	296	440	10	11	小学生野球	0	0	0	0	10	440	10	440
34	四谷中	3,426	164	3,590	221	476	947	344	1,291	128	157	一般サッカー・区民その他	613	2	615	76	425	5,496	907	8,998
34	四谷中 校庭スポーツ開放 (テニス)	0	0	0	0	0	116	23	139	44	118	一般テニス	0	0	0	0	44	139	44	139
35	西早稲田中	3,564	32	3,596	283	535	1,898	265	2,163	96	147	一般野球・サッカー・女性ソフト・少年サッカー・小学生野球	0	0	0	0	379	5,759	828	13,304
36	落合中	2,131	1,098	3,229	168	688	257	382	639	55	55	小学生野球	0	0	0	0	223	3,868	639	9,053
37	落合第二中	2,607	1,031	3,225	271	398	81	82	163	27	27	一般テニス・少年サッカー	0	0	0	0	298	3,388	608	7,116
38	西新宿中	3,517	343	3,852	361	615	184	0	184	46	47		0	0	0	0	407	4,036	982	8,102
39	新宿中	4,974	1,145	6,119	290	836	351	479	830	59	60	一般テニス	886	99	985	63	412	7,934	828	14,089
40	西戸山中	1,764	317	2,081	140	404	305	495	800	37	48	小学生サッカー	1,009	78	1,087	110	287	3,968	482	6,133
41	西戸山第二中	174	492	666	34	114	176	2	178	11	11	グラウンドゴルフ	431	6	437	46	91	1,281	154	2,652
42	新宿養護学校	868	8	876	67	307	0	0	0	0	0		0	0	0	0	67	876	234	2,619
	総合計	104,795	36,310	140,089	9,611	21,988	6,484	3,792	10,257	679	937	-	3,573	188	3,761	358	10,648	154,107	22,834	312,884

平成22年度 学校プール開放実績

午前: 10時 - 12時、午後: 13時 - 15時(牛仲小・花園小・落三小は16時)、夜間: 18時 - 20時

Table with columns for No., 学校名, 委託先, 開放期間, 日数, 対象, 参加人数, 登録者数, 平成22年度 (日数, 人数計, 大人数, 日平均, 登録者数), and 平成21年度 (日数, 人数計, 大人数, 日平均, 登録者数). It lists various schools and their swimming pool usage statistics for the 2022 and 2021 fiscal years.

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-7		
地域との連携事業		開催日時	各事業報告による				
		参加料設定	無料				
内容	(1)多くの地域団体による共同事業実施の促進と参加料設定による地域団体の経営自立化の促進。 (2)地域の特性を生かした連携事業を地域団体と協働で実施し、各地区の歴史・文化の普及及びそれを担う人材の育成とネットワークづくり。 (3)地区担当制による地域団体間コーディネートと地域情報の収集・活用。						
事業区分	1主催事業	対象者	一般				
	1自主事業	会場	各事業報告による				
関係団体	四谷・戸塚・榎・箆笥・若松特別出張所及び地域センター。四谷ひろば、地域スポーツ・文化事業協議会等。	部屋名	地域住民、新宿歴史博物館職員及び各特別出張所職員、各地域センター(地域運営委員会)他				
		指導員・講師等					
周知	方法	備考	定員(延べ)	人			
	財団広報紙、財団HP	チラシ・メンバーズ倶楽部通信	応募者数	人			
申込み	方法	期間	参加者数	人			
	往復はがき HP・Eメール チラシ・電話・FAX	平成22年4月1日～平成23年3月31日	延べ	7,009人			
歳出科目	会計	大科目	中科目				
	公益目的事業会計	事業費支出	7号事業費支出				
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	8,011,000	609,842	7,720,000	900,509	6,819,491	11.7%
(2)	人件費(円)	-	6,302,884	12,298,000	11,702,179	595,821	95.2%
(3)	総事業費(1)+(2)	8,011,000	6,912,726	20,018,000	12,602,688	7,415,312	63.0%
(4)	事業収益(円)	-	-	0	0	0	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	8,011,000	6,912,726	20,018,000	12,602,688	7,415,312	63.0%
(6)	延べ参加者数	-	6,010	6,010	6,412	402	106.7%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	-	1,150	3,331	1,965	1,365	59.0%
【目的】 財団の自主財源および地区担当制を活用し、様々な地域団体間の連携や地域団体と財団が連携して各地区の魅力や特色を表現する事業、地域課題を解決する事業を実施する事によって、地域コミュニティの活性化を促進する。							
【目標・成果指標】財団の地区担当制を活用し、地域情報の収集、集約を行い、地域実態に即した形で地域団体間連携をコーディネートする。コーディネートにあたっては、総合型地域スポーツ・文化クラブの育成を視野に、自主財源の確保に留意。また地域の魅力・特色を具現化し、地域・新宿の魅力、歴史への再発見を促すなかで、より多くの区民に地域への関心、愛着をもってもらうための事業として地域団体と連携し、まち歩きやMAP作り、写真展展示等を実施する。							
【課題】 1 総合型地域スポーツ・文化クラブ育成を視野に、すでに学校拠点に事業展開している団体内融合を推進。その他の団体の参画推進のため、当事業による連携推進を図る必要がある。 2 財団内で事業ごとに把握されている地域情報を地区担当に集約する仕組みづくりと情報活用。 3 地域との協働事業を推進する中で、地域の魅力を自ら伝えていくことのできる人材の育成を行うための仕組みづくりと人材のネットワーク化。							
【今年度の結果】 <成果指標に対する実績> 達成率(実施及び連携地区数):.77.7%(前年度比: % (/)) <内容> 1 地区協議会との連携:四谷地区・箆笥地区・榎地区・若松地区・戸塚地区・柏木地区の6地区とその他として愛日小学校との間で、11の連携事業を行った。 2 地域団体活性化プログラム:平成21年度に引き続き、四谷地区地域スポーツ文化協議会と四谷ひろばとの連携を促進。四谷ひろばで、子供向けの校庭開放事業を実施。【160回・612人参加】 3 地区担当制度:総合型地域スポーツ・文化クラブ育成事業・地域スポーツ・文化事業コーディネート。学校プール開放事業の推進・地域受託の推進。コミュニティスポーツ地区大会の実行委員会コーディネート。放課後子どもひろば・地域との連携促進(プログラムの実施)。							
【今後の課題】 1 地区協議会との連携 (1)次年度実施予定の大久保・落合第一・二・角筈地区との連携では、本年度後半から準備している企画を他部署と調整しながら連携事業を展開。本年度展開した出張博物館事業の成果を踏まえ、次年度以降各地域で計画的に実施する。 (2)地域連携事業に伴い核となる各特別出張所との協働連携の強化を図り、地域センターや地区協議会・学校等次の核となる周辺へと拡大を図り、人材の育成やボランティア活動の機会と場の創設を模索・検討する。 2 地域団体活性化プログラム 総合型地域スポーツ・文化クラブ育成を地域全体を巻き込んだものとするため、必要に応じ地域団体に対し支援・コーディネートを行う。 3 地区担当制度 財団内での地域情報共有化のための地区担当制度再編成。地域団体との協働推進。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
消耗品費支出	1,032,000			1,032,000	740,509	291,491	71.8%
印刷製本費支出	798,000			798,000	0	798,000	0.0%
保険料	332,000			332,000		332,000	0.0%
委託費	5,550,000			5,550,000	160,000	5,390,000	2.9%
旅費交通費	8,000			8,000	0	8,000	0.0%
人件費支出	12,298,000			12,298,000	11,702,179	595,821	95.2%
事業費合計(円)	20,018,000			20,018,000	12,602,688	7,415,312	63.0%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 「出張博物館」として展示会やまち歩き企画で、地域の人たちから賛同・期待の声が聞けた。 2 各地区で事前にマップ作成やまち歩きなどで連携があり、展示会・まち歩きでも地区協議会委員の協力を得ることができた。 3 前年度に引きつづき地域スポーツ文化協議会と地域団体との連携を促進した。 4 総合型地域スポーツ・文化クラブ育成のためのコーディネート、学校プール開放地域団体受託の促進等を行った。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-7-(1)		
地域との連携事業 (1) 地区協議会等との連携		開催日時	別紙参照				
		参加料設定	無料				
内容	1 地区協議会等との協働により地域の特性を活かした連携事業を協働で実施し、各地域の歴史・文化の普及およびそれを担う人材の育成とネットワーク作りを行う。 2 区内の地区協議会等との協働により、まち歩き企画実施・リーフレット作成・写真展示等、各地域の特性を活かした連携事業の内容を協議により決定し、協働で事業を実施する。						
事業区分	1 主催事業 1 自主事業	対象者	一般				
関係団体	四谷・戸塚・榎・笹笥・若松特別出張所 四谷・戸塚・榎・笹笥・若松地域センター	会場	別紙参照				
		部屋名 指導員・講師等	新宿歴史博物館職員及び各特別出張所職員、各地域センター(地域運営委員会)				
周知	方法	備考			定員(延べ)	人	
	財団広報紙、財団HP	チラシ・メンバーズ倶楽部通信			応募者数	人	
申込み	方法	期間			参加者数	人	
	往復はがき HP・Eメール チラシ・電話・FAX	11月20日～平成23年1月5日			延べ	6,397人	
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			7号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	977,000	409,122	1,714,000	646,891	1,067,109	37.7%
(2)	人件費(円)	0	4,783,755	6,687,000	6,326,755	360,245	94.6%
(3)	総事業費(1)+(2)	977,000	5,192,877	8,401,000	6,973,646	1,427,354	83.0%
(4)	事業収益(円)	0	0	0	2,600	2,600	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	977,000	5,192,877	8,401,000	6,971,046	1,429,954	83.0%
(6)	延べ参加者数	-	5,920	-	6,397	-	-
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	-	877	-	1,090	-	-
【目的】1 区民や地域団体、区内各施設等と協働しながら、各地域の特性を活かした連携事業を実施することにより、区内外の人々に新宿区の歴史や文化財を身近に感じ、学んでもらうとともに、当館の活動を広く周知するための事業とする。3年で10地区との協働事業を行い、平成22年度に全地区との連携を一通り完了。2 平成23年度以降は連携強化のため、地域からの要望に合わせてフォローを行い、地域を軸とした親しまれる博物館づくりにつなげる。							
【目標・成果指標】区内各地域住民との協議により、まち歩きや写真展示等の事業を実施する。写真展示の実施にあたっては当館での写真展及び写真集等のPR及び、当館各種事業と所蔵資料を広く知ってもらうための機会とする。							
【課題】1 地域との協働事業として企画段階から区民や地域団体に関与してもらい、地域からの要望に応じていく上で各課・地区担当や特別出張所などとの連携の強化が必要となる。2 地域の中で歴史・文化の普及啓発を担う人材とネットワークづくりのためのノウハウを積み重ねる必要がある。							
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率(実施地区): 85.7%(6か所/7か所) 前年度比: -(- / -) < 内容 > 1 四谷地区・笹笥地区・榎地区・若松地区・戸塚地区・柏木地区の6地区、及び愛日小学校との間で、11の連携事業を行った。 2 12月1日から平成23年1月31日までの大規模修繕による博物館休館中、「出張博物館事業」として、榎地区、若松地区、四谷地区、戸塚地区、笹笥地区で講座、まち歩き、展示会等を開催した。 3 協働で地図作成を行った地区が、自主的にまち歩きを企画し始めており、これに対する企画、運営協力を行うことで地域との協働関係が深まっている。							
【今後の課題】 1 次年度実施予定の大久保・落合第一・落合第二・角筈地区との連携では、本年度後半から準備している企画を他部署と調整しながら連携事業を展開する。 2 本年度展開した出張博物館事業の成果を踏まえ、次年度以降各地域で計画的に実施する。 3 地域連携事業に伴い核となる各特別出張所との協働連携の強化を図り、地域センターや地区協議会・学校等次の核となる周辺へと拡大を図り、人材の育成やボランティア活動の機会と場の創設を模索・検討する。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
消耗品費支出	916,000			916,000	646,891	269,109	70.6%
印刷製本費支出	798,000			798,000	0	798,000	0.0%
人件費支出	6,687,000			6,687,000	6,326,755	360,245	94.6%
事業費合計(円)	8,401,000			8,401,000	6,973,646	1,427,354	83.0%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
					2,600		
合計(円)					2,600		

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<p>1 今回の「出張博物館」として展示会やまち歩きを企画できたことで地域の人たちからの賛同や今後も期待しているなどの声を聞いたことは次につながる企画であった。</p> <p>2 各地区で事前にマップ作成やまち歩きなどで連携があり、今回の展示会・まち歩きの際も地区協議会の委員の協力を得るなど連携の推進が着実に進展している。</p> <p>3 今回の展示をきっかけに次回の展示やまち歩きなどの実施に際して地区協議会委員を中心に人材育成や活動の機会を創るなどの取り組みを行う。</p>
---------------	---	---

地域との連携事業実績一覧

地区名	連携先	日時及び会期	内容	展示点数	1日平均 (観覧者：人)	参加者及び観 覧者(人)
四谷地区	四谷特別出張所・四谷地域センター1階ロビー	平成23年1月19日～1月30日：20日	写真展「あの頃の四谷」	15	140	2100
箕苧地区	箕苧町特別出張所・牛込箕苧地域センター管理運営委員会・箕苧町特別出張所1階ロビー	平成23年1月30日～2月6日：8日	展示会「江戸の絵図と明治・大正の筭笥」	44	100	800
	榎地区協議会	平成22年6月6日	「まち歩き」マップ完成に伴う			30
	榎町特別出張所	平成22年7月17・18日：2日	写真展「写真でつづる榎の今昔」			200
榎地区	榎町特別出張所・榎町地域センター	平成22年12月4日～12日：9日	展示会「榎の今と昔」	47	38	540
	榎地区協議会	平成23年3月13日	「まち歩き」マップ完成に伴う			15
若松地区	若松町特別出張所・若松地域センター・若松地区協議会・若松地域センター2階ロビー	平成23年1月15日～28日：7日	展示会「若松の風景」	62	118	1900
	若松地区協議会	平成22年11月10日	「まち歩き」平和マップ			22
戸塚地区	戸塚地区協議会・戸塚地域センター1階ロビー	平成23年1月22日～28日：7日	展示会「戸塚の遺跡」	10	107	750
柏木地区	柏木地区協議会	平成23年1月16日	「七福神めぐり」			40
その他	愛日小学校・4階資料室前	平成22年5月15日～6月29日：47日	130周年記念事業 写真展「あの頃の愛日」	16		観覧者数不明
合計						6397

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-7-(2)		
地域との連携事業 (2)地域団体活動活性化プログラム		開催日時	通 年				
		参加料設定					
内 容	1 総合型地域スポーツ・文化クラブ育成のため、地域団体同士の共同事業促進。 2 参加料設定による地域団体の経営自立化。 3 財団地区担当制を活用した地域団体間連携のコーディネート。						
事業区分	1 主催事業	対象者	区内地域団体・地域スポーツ文化協議会他				
	1 自主事業	会 場	区内各地区				
関係団体	区内地域団体・地域スポーツ文化協議会 他	部屋名					
		指導員 ・講師等					
周 知	方法	備考		定員(延べ)	団体		
				応募者数	人		
申込み	方法	期間		参加者数	612人		
		4月1日～平成23年3月31日		延べ	1団体(160回) 612人		
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		7号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	7,034,000	200,720	5,998,000	253,618	5,744,382	4.2%
(2)	人件費(円)	-	1,519,129	374,000	358,362	15,638	95.8%
(3)	総事業費 (1)+(2)	7,034,000	1,719,849	6,372,000	611,980	5,760,020	9.6%
(4)	事業収益(円)	0	0	0	0	0	0.0%
(5)	財源充当額 (3)-(4)	7,034,000	1,719,849	6,372,000	611,980	5,760,020	9.6%
(6)	延べ参加者数(地区数)	3	1	2	1	1	50.0%
(7)	単位費用(円) (5)/(6)	2,344,667	1,719,849	3,186,000	611,980	2,574,020	19.2%
【目的】							
1 総合型地域スポーツ・文化クラブ創設を視野に入れ、財団の自主財源および地区担当制を活用し、様々な地域団体間の連携を促進する。							
2 クラブ自主運営を目指し、地域団体活動の自主財源による実施を推進する。							
【目標・成果指標】							
1 財団の地区担当制を活用し、地域情報の収集、集約を行いながら、地域実態に即した形での地域団体間連携のコーディネートを行う。							
2 コーディネートにあたっては、総合型地域スポーツ・文化クラブの育成を視野に入れ、自主財源の確保にも留意する。							
【課題】							
1 総合型地域スポーツ・文化クラブ育成を視野に入れ、すでに学校拠点に事業展開している団体内融合を推進するとともにその他の団体の参画を推進するため、当事業による連携推進を図る必要がある。							
2 地域スポーツ・文化事業等で受益者負担・参加料設定を推進するための仕組みとしての当事業実施。							
3 財団地区担当制活用による地区情報の集約・共有化と地域への的確なコーディネート。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 >							
達成率:50%(1地区/2地区)、前年度比:100%(1地区/1地区)							
< 内訳・内容 >							
1 平成21年度に引き続き、四谷地区地域スポーツ文化協議会と四谷ひろばとの連携を促進。							
2 四谷ひろばで、子供向けの校庭開放事業を実施。(160回・612人参加)。							
3 地域貸出用品の整備。							
【今後の課題】							
1 地域団体間をコーディネートするための情報収集。							
2 区立小中学校を拠点として地域向けプログラムを実施している団体と他の地域単体との連携促進。							
3 学校を利用した地域団体による住民向けプログラム実施時における参加料設定等による受益者負担の促進。							
4 新しい要綱の検討と制定。							
5 地区担当者の地域及び地域団体等への係わり方、役割の見直しによる事業の推進。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
消耗品費	116,000			116,000	93,618	22,382	80.7%
保険料	332,000			332,000	0	332,000	0.0%
委託費	5,550,000			5,550,000	160,000	5,390,000	2.9%
人件費	374,000			374,000	358,362	15,638	95.8%
事業費合計(円)	6,372,000			6,372,000	611,980	5,760,020	9.6%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

アンケート評価基準

参加率	回収率	アンケート

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 前年度に引き続き、地域スポーツ文化事業協議会と地域団体との連携促進を行った。 2 前年度90人の参加に対し、162人の参加人数を得た。 3 地域スポーツ文化事業のイベントについても、四谷ひろばで実施し、300人を超える参加を得た。
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-7-(3)		
地域との連携事業 (3)地区担当制度		開催日時	通 年				
		参加料設定					
内 容	1 地域活力推進事業実施。開放地域受託推進。2 コミュニティスポーツ大会地域団体調整(3)地域コミュニティ醸成支援。3 地域協働事業企画・実施。4 地域情報収集・集約・活用、等						
事業区分	1 主催事業	対象者	区民・地域団体等				
	1 自主事業	会 場	区内各地区・区立小中学校等				
関係団体	地域人材・地域団体・区民等	部屋名					
		指導員 ・講師等					
周 知	方法	備考		定員(延べ)	団体 人		
				応募者数			
申込み	方法	期間		参加者数	延べ		
		4月1日～平成23年3月31日					
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		7号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)			8,000	0	8,000	0.0%
(2)	人件費(円)			5,237,000	5,017,062	219,938	95.8%
(3)	総事業費 (1)+(2)			5,245,000	5,017,062	227,938	95.7%
(4)	事業収益(円)			0	0	0	-
(5)	財源充当額 (3)-(4)			5,245,000	5,017,062	227,938	95.7%
(6)	延べ参加者数						
(7)	単位費用(円) (5)/(6)						
【目的】							
1 財団の財産である地域人材との関わり・協働をより推進するとともに、地域コミュニティ醸成のための各種財団事業を円滑かつ効果的に実施する。							
2 地域情報を収集・集約し、蓄積・共有化を図ることによって財団の貴重な資源として活用する。							
【目標・成果指標】							
1 地区担当制を活用、地域情報の収集・集約を行い、地域実態に即した形での地域団体間連携のコーディネートする。総合型地域スポーツ・文化クラブの育成を視野に入れ、自主財源の確保にも留意する。							
2 財団各課・各事業のもつ地域情報を集約・共有し、地域活性化のための事業・コーディネートに活用する。							
【課題】							
1 総合型地域スポーツ・文化クラブ育成を視野にいれ、すでに学校拠点に事業展開している団体内融合を推進するとともにその他の団体の参画を推進するため、当事業による連携推進を図る必要がある。							
2 地域スポーツ・文化事業等で受益者負担・参加料設定を推進するための仕組みとしての当事業実施。							
3 財団地区担当制活用による地区情報の集約・共有化と地域への的確なコーディネート。							
【今年度の結果】地区担当制の見直し・運用。地区情報取りまとめ等。							
< 成果指標に対する実績 > 達成率: - % (- / -) 前年度比: - % (- / -)							
< 内訳・内容 >							
1 総合型地域スポーツ・文化クラブ育成事業の推進に向けた、地域スポーツ・文化事業「箆笥地域スポーツ文化協議会(箆笥)、わせだ地域スポーツ文化協議会(榎)、落合中学校区地域スポーツ文化協議会(落一)、落二地域スポーツ文化協議会(落二)、トレスポ地域スポーツ文化協議会(大久保・戸塚)、新宿西戸山中学校区地域スポーツ文化協議会(戸塚)、若松地域スポーツ文化協議会(若松)、よどばしKaTクラブ地域スポーツ文化協議会(柏木/角笥)、四谷地区地域スポーツ文化協議会(四谷)」のコーディネート。							
2 学校プール開放事業の推進・地域受託の推進。							
3 コミュニティスポーツ地区大会の実行委員会コーディネート。							
【今後の課題】							
1 地域との関わり、情報の共有化をすすめるための地区担当制の再編成検討。							
2 地域のニーズを捉えるため、地区協議会等への参加、情報収集。							
3 地域への窓口として、人事異動等に影響されない地区担当制度の確立。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	8,000			8,000	0	8,000	0.0%
人件費	5,237,000			5,237,000	5,017,062	219,938	95.8%
事業費合計(円)	5,245,000			5,245,000	5,017,062	227,938	95.7%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 総合型地域スポーツ・文化クラブ育成事業・地域スポーツ・文化事業コーディネート。 2 学校プール開放事業の推進・地域受託の推進。 3 コミュニティスポーツ地区大会の実行委員会コーディネート。 4 放課後子どもひろば・地域との連携促進(プログラムの実施)。 5 地区情報の取りまとめ、地区担当の見直しを行うことが
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-8		
生涯学習館登録団体への活動支援		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	生涯学習館6館において、館登録団体として活動する生涯学習団体に対し、新宿区立生涯学習館条例及び同施行規則に基づき、利用料を50%減額。これにより、館における登録団体の活動を金銭面で支援している。平成22年度より事業化。						
事業区分	3その他	対象者	区内生涯学習活動団体				
	2補助事業	会場	三栄町・赤城・戸山・北新宿・住吉町・西戸山生涯学習館				
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考			定員(延べ)		
	ホームページ 施設ガイド				応募者数	人	
申込み	方法	期間			利用者数	191,396人 18,816件	
	施設貸出システム						
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			7号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	0	0	0	0	0	0
(2)	人件費(円)			0	0	0	0
(3)	総事業費(1)+(2)	0	0	0	0	0	0
(4)	事業収益(円)	0	0	0	0	0	0
(5)	財源充当額(3)-(4)		0	0	0	0	0
(6)	延べ参加者数	0	799	780	853	73	110.6
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	0	0	0	0	0	0
【目的】 地域での生涯学習活動の拠点施設として、地域の生涯学習活動を支援する一環として、生涯学習館登録団体の活動を金銭面で支援することにより、地域の生涯学習活動の振興に寄与する。							
【目標・成果指標】 登録団体数780 1 館登録団体の活動を活性化させるため、館登録団体同士の交流及び館を超えて同じ活動をしている団体を結びつける仕組みを整備し、また団体同士を結びつけるコーディネートを行なう。 2 多様な館登録団体が館まつり等の事業に参画し、生涯学習活動の成果を地域に還元できるようコーディネートし、地域の生涯学習推進の担い手を増加させる。							
【課題】 1 館登録団体同士の交流や場が少ないため、会員数の減少や新規会員数獲得の機会が、団体自主講座の運営など限られた機会しかない。 2 館登録団体の活動内容・状況を簡便に照会できるシステムが無いため、会士同士の横のつながりをつくる機会が、館まつりへの参加等限られた機会しかない。 3 新規の館登録団体を、生涯学習館まつりや団体自主講座運営など地域の生涯学習活動に貢献できる団体として育成するための機会の不足。							
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 登録団体数 達成率:109.3%(853団体/780団体) 前年度比:106.7%(853団体/799団体) 参加者数 達成率:98.1%(191,396人/195,000人) 前年度比:91.1%(191,396人/209,883人) < 内訳・内容 > 1 生涯学習館登録団体の利用料金を50%減額。登録団体減額実績は12,220,950円(施設貸出システム上の金額)となり、目標としていた減額総額10,516,000円に対する達成率は116.2%となった。 2 生涯学習館登録団体の施設優先受付として、利用希望月の3か月前第4土曜日午前中に、登録館で一斉受付を実施。 3 館登録団体の協力・参画を得て「生涯学習館まつり」を実施。東日本大震災の影響で実施できなかった西戸山生涯学習館以外の5館で、盛況に開催した。							
【今後の課題】 1 既存生涯学習団体の高齢化及び会員数の減少傾向が見られるなか、団体の活動を支援するため、団体同士の横のつながりを築くための契機づくり。 2 23年度を最後に閉館予定の三栄町生涯学習館の各館利用団体に対する活動の支援。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
(団体支援減額分)	(10,516,000)			(10,516,000)	(12,220,950)	(-1,704,950)	116.2%
事業費合計(円)	(10,516,000)			(10,516,000)	(12,220,950)	(-1,704,950)	

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	4	1 今年度は戸山・西戸山生涯学習館での工事による臨時休館で、地域センター等に活動拠点を移す団体が増える懸念があったが、登録団体数は前年実績を上回る数字となった。 2 生涯学習館まつりは、東日本大震災の影響で西戸山生涯学習館で中止したが、それ以外の5館合計実績では参加団体数、来場者数とも前年実績を上回る数字となった。
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-9		
自主活動団体への支援事業 (区民プロデュース事業)		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	区内で活動する自主活動団体並びに民間活動団体が企画する区民講座や事業等に対して積極的な支援を行う。						
事業区分	1主催事業	対象者	区民全般、ほか				
	2補助事業	会場	生涯学習館および地域センター、地域小学校 他				
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考	定員(延べ)	25,795人			
	広報紙・ホームページ ポスター・チラシ 他	広報紙4/5号(通年・上期)と9/5号(下期)12/5号(第4半期)日にポスター・チラシ・冊子(閲覧用の団体チラシ集)を生涯学習館地域センター等、50施設へ配布し周知する 広報直前の学習館一斉受付日に告知する	応募者数	80団体 22,016人			
申込み	方法	期間	参加者数	57団体			
	往復はがき 電話・FAX HP・E-mail	4月1日～平成23年3月20日 通年(4月～3月)・上期(4月～9月) 下期(10月～3月)	延べ	19,981人 57団体 19,981人			
歳出科目	会計	大科目	中科目				
	公益目的事業会計	事業費支出	7号事業費支出				
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	7,605,000	5,353,973	9,511,000	4,647,157	4,863,843	48.9%
(2)	人件費(円)	-	3,366,513	1,898,000	1,739,727	158,273	91.7%
(3)	総事業費(1)+(2)	7,605,000	8,720,486	11,409,000	6,386,884	5,022,116	56.0%
(4)	事業収益(円)	0	0	0	0	0	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	7,605,000	8,720,486	11,409,000	6,386,884	5,022,116	56.0%
(6)	延べ参加団体数	80	59	80	57	23	71.3%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	95,063	147,805	142,613	112,051	30,562	78.6%
【目的】							
区民の多様なニーズに応えるため、区内で活動する自主及び民間活動団体等と連携し各種講座・イベントを開催する。							
【目標・成果指標】 講座・イベント予算 80事業(前年度 59事業、うちイベント1)							
1 区内で活動する自主活動団体及び民間活動団体等と連携し、区民に良質な学習機会を提供する。							
2 説明会の開催により、新たな協力団体を発掘し講座内容を拡充する。							
3 各団体との連携を通して、生涯学習・支援者バンクへの登録を促す。							
【課題】							
1 「財団における団体自主講座支援事業に関する要綱」及び「団体自主講座募集要項」の整備。							
2 自主活動団体への支援のあり方と新たな事業連携の仕組みづくり。							
3 幅広い講座の開催に向けた新たな団体の発掘。							
4 自主活動(学習グループ)グループの高齢化。							
5 事業実施に向けた地域活性化プログラム事業との事務調整。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率: 71.3%(57事業/80事業 前年度比: 96.6%(57事業/59事業)							
< 内訳・内容 >							
1 通年・上期実施事業41事業【内訳: 一般23(趣味13、健康・スポーツ9)、高齢者教養講座10、語学4、青少年4、イベント1】 下期・追加実施講座16事業【内訳: 一般10(趣味5、健康・スポーツ5)、高齢者教養講座3、語学1、イベント2】							
2 事業の多様化が進み、事業数で趣味18、健康・スポーツ14、高齢者教養講座13とバランスがとれ、また年間で新規は4団体(前年は1)あった。							
3 平成23年度に予定していた運営要綱の見直しを実施。平成23年度実施分から変更することとした。 (1)団体や区民がいつでも事業に応募・参加できるよう、従前年2回だった企画募集を年4回とした。 (2)新規参加者を多く獲得しようとする企画を評価し、助成金額決定にも関係する仕組みとした。							
【今後の課題】							
1 旧財団で実施していた文化・国際交流事業(日本語教室やイベント等)や新規事業に適応した募集要綱の再整備。							
2 平成23年から「委託事業から助成事業」への転換を機に、団体の自立化を見据え、運営と体制、事業の見直しが急務。							
3 幅広い講座やイベントの開催に向けた新たな団体の発掘。							
4 多くの区民の参加と団体の活性化のため、新規参加者の獲得とその継続への取り組み姿勢を評価し支援が重要。							
5 事業実施に向けた地域活性化プログラム事業との事務調整。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費支出	7,000			7,000	0	7,000	0.0%
消耗品費支出	4,000			4,000	3,990	10	99.8%
印刷製本費	200,000			200,000	0	200,000	0.0%
委託料支出	9,300,000			9,300,000	4,643,167	4,656,833	49.9%
人件費支出	1,898,000			1,898,000	1,739,727	158,273	91.7%
事業費合計(円)	11,409,000			11,409,000	6,386,884	5,022,116	56.0%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<p>1 今年度の応募団体数は昨年度とほぼ同じで、うち新規団体が7団体あり、実施団体は58団体(前年比98%)、うち新規4団体(合格率60%)にとどまる。</p> <p>2 平成23年度実施予定だった要綱の見直しを行い、次年度から団体募集の回数を増やすこととした。さらに事業趣旨である多くの新規参加者を獲得しようとする企画を評価し、助成金額決定条件にも反映させることとした。</p>
---------------	---	---

平成22年度区民プロデュース事業～事業実績～

No.	講座名	団体名	会場	期間
1	古典文学 高齢者教養講座	二四木会	落合第二地域センター (大会議室A+B)	5/13-9/23 10/14-2/24
2	三栄木曜コース	三栄きのえね会	三栄町生涯学習館 (レクホール)	5/13-2/24
3	高齢者教養講座 戸山木曜コース	戸山平成会	戸山生涯学習館 (ホール)	5/6-2/24
4	火曜日が楽しくなる 教養講座(さつき会)	さつき会	三栄町生涯学習館 (レクホール)	5/11-2/15
5	新生大学院 (高齢者学習戸山コース)	新宿区 高齢者学級連合会	戸山生涯学習館 (1Fホール)	5/7-3/11
6	一般教養講座 (木曜午後コース)	木曜会	落合第二地域センター (A+B大会議室)	4/8-9/30 10/14-2/24
7	一般教養・戸山みのり会 水曜コース	戸山みのり会	戸山生涯学習館 (ホール)	5/12-2/16
8	高齢者教養講座・ 金曜コース	赤城新生二期会	赤城生涯学習館 (レクホール)	5/14-9/24 10/8-2/25
9	転倒防止と健康体操の会	しゃくやくの会	赤城生涯学習館 (レクホール+講習室)	5/24-12/6
10	高齢者教養講座・ 北新宿水曜コース	北新宿新水会	北新宿生涯学習館 (レクホール)	5/12-2/23
11	囲碁教室	盤友囲碁クラブ	赤城生涯学習館 (教養室A)	5/11-7/13
12	短歌にたしむ入門講座	落合短歌会	落合第二地域センター (大会議・小会議室)	5/2-2/23
13	楽しい! 社交ダンス入門講座	新宿さずなサークル	戸山生涯学習館 (ワークルーム)	5/11-2/22
14	はじめての小鼓	新宿小鼓の会	三栄町生涯学習館 (和室)	5/13-6/3 11/18-12/9
15	初めて吹く クロマチックハーモニカ	クロマチック新宿	西戸山生涯学習館 (視聴覚室)	4/14-7/28
16	ラウンドダンス	ローレイ	戸山生涯学習館 (ワークルーム)	5/18-9/21 11/9-3/29
17	熟年料理教室	かえて会	北新宿生涯学習館 (講習室)	5/9-9/26 10/10-2/27
18	高齢者のための教養講座	赤城新生一期会	赤城生涯学習館 (レクホール)	5/6-3/17
19	陶芸・ビーズ・水引など 楽しい教室!手作りART	手作りART	住吉町生涯学習館 (美術工芸室)	4/25-2/20
20	赤城陶芸教室	赤城陶芸会	赤城生涯学習館 (講習室)	5/13-9/23
21	かっぱれ踊り江戸の粋	かっぱれ新宿駒乃会	戸山生涯学習館 (ワークルーム)	5/15-11/13
22	親子陶芸教室	NPO法人市民の芸術 活動推進委員会	CCAAアートプラザ (図工室)	5/2-9/19 10/3-2/20
23	ストレッチ & 太極拳	S・P・T・C下落合公園 太極拳倶楽部	コスミックセンター (多目的室)	5/23-9/26 10/17-3/20
24	中高年向ストレッチと ジャズダンス	K&Kパッション	住吉町生涯学習館 (レクホール)	5/11-9/28 10/12-2/22
25	ゆったり ゆっくり ハワイアン フラ教室	フラ・ブルメリア	住吉町生涯学習館 (レクホール)	5/17-2-21
26	「旅の簡単スケッチ画」講習	月描会	戸塚地域センター (7Fホール)	5/10-9/19
27	健康麻雀同好会	健康麻雀同好会 内川塾	住吉町生涯学習館 (学習館A)	5/6-2/24
28	初級中国語会話	中国愛好会	天神小学校 (会議室)	5/6-7/8
29	抒情歌を歌う	抒情歌を歌う会	住吉町生涯学習館 (レクホール)	5/18-2/15
30	楽しいマジック教室	新宿マジッククラブ	赤城生涯学習館 (講習室)	4/9-8/6
31	自彊術	戸山自彊術の会	戸山生涯学習館 (和室)	5/12-2/23
32	新宿・歴史おもしろゼミナール ～伝統文化から学ぶ～	地域の文化と 伝統研究会	牛込笹岡地域センター (和室)	4/24-8/7
33	入門・初級・中国語会話	中国語講習会	三栄町生涯学習館 (教養室)	5/15-8/7 10/9-1/22
34	始皇帝・項羽・劉邦を中心に 「史記」に学ぶ人間学	歴史に学ぶ会	若松地域センター (第一集会室)	10/20-2/16
35	居合道に親しむ集い	新宿居合道を楽しむ会	元気館(体育館)	10/23-3/12
36	新婦人新宿支部 絵手紙交流会	新日本婦人の会 新宿支部絵手紙交流会	戸塚地域センター (会議室1)	10/5-11/9
37	リズムミック・カンフー 初心者コース	リズムミック・カンフー 柏木クラブ	柏木地域センター (多目的ホール)	10/7-12/9
38	「染の小道」2011	「染の小道」実行委員会	中井駅周辺	2/18-2/20
39	国際囲碁親善大会	国際囲碁親善 ファスティバル実行委員会	大久保地域センター (大会議室他)	3/13
40	小学生からの合唱教室	早稲田 少年少女合唱団	早稲田小学校 (音楽室)	5/1-3/5
41	少年少女合唱教室	新宿区 少年少女合唱団	赤城生涯学習館 (レクホール)	5/15-2/26
42	心にひびく 日本語クラス	四谷の日本語サークル	四谷地域センター (第4集会室)	4/7-10/20
43	日本語教室	アトム日本語教室	在日外国人 情報センター	4/20-7/1
44	楽しく学ぼう算数図形教室	エンの会	数学教育研究会	5/15-9/18
45	落合少年少女合唱団講座	落合少年少女合唱団	落合地区小学校	5/15-12/18
46	「Love子育て ママと子供が輝く」講座	ポーダレスベビー	赤城生涯学習館 (和室)	5/12-7/21
47	ワークショップ	NPO法人 カガエイラ・テンポ	コスミックセンター (多目的広場)	7/24

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-10		
人材バンクの充実		開催日時					
		参加料設定					
内容	文化やスポーツ、国際理解や芸術など幅広い分野で新宿の地域人材を発掘・登録し、養成講座等を実施するとともに、地域の活性化や新宿力を高めるための地域還元の仕組みとして、人材バンクを整備する。また、地域人材としての個人や団体を支援し、情報の共有化と活動の活性化を図るため、各種団体の組織化とネットワーク化を推し進める。						
事業区分	1 主催事業	対象者	区民全般				
	2 補助事業	会場	新宿コスミックセンター				
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考		登録者数	527人		
	広報紙 ホームページ ポスター・チラシ	要請		活動日数			
申込み	方法	期間		参加者数	4,180日		
	電話・FAX HP・E-mail 往復はがき	講習会	：上期(6月～9月) 下期(10月～3月)	延べ	レベルアップ講座 応募者：342人 参加者：288人		
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		7号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	959,000	297,765	2,212,000	870,488	1,341,512	39.4%
(2)	人件費(円)	-	-	8,043,000	7,527,824	515,176	93.6%
(3)	総事業費(1)+(2)	959,000	297,765	10,255,000	8,398,312	1,856,688	81.9%
(4)	事業収益(円)	-	-	0	32,500	32,500	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	959,000	297,765	10,255,000	8,365,812	1,889,188	81.6%
(6)	延べ参加者数(登録者数)	1,048	796	1,126	527	599	46.8%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	915	374	9,107	15,874	6,767	174.3%
<p>【目的】文化やスポーツ、国際理解や芸術など幅広い分野で、新宿の地域人材を発掘・登録し、地域住民の生涯学習実現への支援と、地域社会における人材交流・区民がより質の高い生活を送るため、地域人材による還元の仕組みを整備することを目的とする。</p> <p>【目標・成果指標】1 登録者の活用先の拡大と満足度向上。登録者に対する有償ボランティア制度の仕組みの導入。 2 各々のバンク・ボランティア登録者及び同様の活動をしている区内団体の組織化とネットワーク化。 3 人材情報の適正管理と簡便な検索・照会のための人材情報データベース兼検索・照会システムの導入による活用促進のための基盤づくり。</p> <p>【課題】1 登録者の活用先の拡大。登録者の満足度を高め、活動意欲を高める仕組みが必要。 2 各バンク、ボランティア登録者同士のつながりが弱く、情報の共有化ができていない。 3 各バンクの人材・ボランティアを一元的に登録管理し、検索・照会できるシステムの導入。</p> <p>【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 登録者数 達成率：46.8%(527/1,126) 前年度比：66.2%(527/796) 活用件数 達成率：101.3%(4,180/4,125) 活動日数を計上 前年度比： - %(4,180/ -)</p> <p>< 内訳・内容 > 内訳別紙 1 前期(6月～9月)、後期(10月～3月)に指導者・支援者を対象にしたレベルアップ講習会を実施。 2 効果的な人材情報の周知公開を検討するため、既に人材活用があり情報公開を行っている5自治体へ調査を行った。市、吉川市、千葉県、東京都世田谷区、中野区) 3 生涯学習フェスティバル「音楽・コーラスのつどい」の舞台運営と「写真展」の展示作業等で支援者を活用。専門スタッフとして活動育成を開始。 4 人材バンクを区民に周知するための制度案内パンフレットの作成。 5 区民の生涯学習に寄与できる写真学習団体と健康麻雀団体の組織化へ向けてコーディネートを行っている。写真学習団体については連絡会を発足。</p> <p>【今後の課題】1 登録者数増への制度PRの方法の工夫、定期的な情報更新の方法の検討。 2 財団事業と連動させた登録者の活用件数増。 3 地域スポーツ・文化事業への参画促進。 4 区内各所(社会福祉協議会など)・人材制度を持つ各課との情報共有・連携と今後の運用・役割分担の検討。 5 区第二次実行計画(平成24年～27年度)の方向性を踏まえつつ、区民、登録者、区・財団のそれぞれが活動情報を発信・検索・照会できるシステムの導入準備。</p>							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
会議費	11,000			11,000	0	11,000	0.0%
旅費交通費	18,000			18,000	0	18,000	0.0%
通信運搬費	166,000			166,000	8,920	157,080	5.4%
消耗品費	1,073,000			1,073,000	408,468	664,532	38.1%
印刷製本費	105,000			105,000	26,100	78,900	24.9%
保険料	15,000			15,000	5,000	10,000	33.3%
諸謝金	624,000			624,000	422,000	202,000	67.6%
委託費	200,000			200,000	0	200,000	0.0%
人件費	8,043,000			8,043,000	7,527,824	515,176	93.6%
事業費合計(円)	10,255,000			10,255,000	8,398,312	1,856,688	81.9%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
事業収入	0			0	32,500	32,500	-
合計(円)	0			0	32,500	32,500	-

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
80.0%	78.0%	4.2

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<p>1 登録情報の活用を増やすため、バンク制度周知パンフレットを作成。</p> <p>2 区民が地域活動するために必要な具体的な講座にした結果、バンク登録者以外の参加者が増え、バンク制度の周知と登録者増につながった。</p>
---------------	---	---

1 登録者数

		21年度	22年度
生涯学習指導者・支援者バンク	スポーツ分野	211名	146名
	学習・文化分野		93名
アーティストバンク	個人・団体	41名	66名
通訳・翻訳、日本語ボランティア	通訳・翻訳	465名	128名
	交流サロン	7	6名
	日本語教室	86名	89名
合 計		796名	527名

2 活 動

		件数	延べ日数
生涯学習指導者・支援者バンク	講座実施	76	425
	指導・支援	153	1,591
	資格取得、講座参加等	63	63
	ボランティア	104	362
アーティストバンク	ランチタイムコンサート等	11	8
通訳・翻訳、日本語ボランティア	通訳・翻訳	8	8
	交流サロンの運営	12	12
	日本語教室(新宿区日本語教室)	575	570
	日本語教室(放課後日本語学習支援)	935	935
	日本語教室(新宿区日本語教室)	206	206
合 計		2,143	4,180

3 講習会

(1)日本語ボランティア対象レベルアップ講座 会場:新宿文化センター会議室

日程	テーマ	応募者数	参加者数
7月26日	「外国人を隣人として支援する」とは? [講師] 林川玲子	8	8
7月30日	日本語学習支援とは? [講師] 林川玲子	10	10
8月3日	日本語学習支援のひとつの方法 [講師] 山形美保子	11	11
8月5日	自分がしていること [講師] 林川玲子	5	4
8月9日	支援することはされること? [講師] 宮崎妙子	5	5
8月11日	身近なパッケージを使って何が出来るだろう? [講師] 藤橋帥子	10	9
8月20日	地域日本語教室の役割 [講師] 宮崎妙子	14	14
8月24日	日本語学習支援のひとつの方法 [講師] 山形美保子	15	14
8月26日	話題に詰まった時の解決策は? [講師] 藤橋帥子	14	12
9月5日	グループの中に“困った空気”が流れた時、どうする? [講師] 藤橋帥子	10	8
9月11日	日本語学習支援のひとつの方法 [講師] 山形美保子	9	7
9月20日	多文化共生社会って? [講師] 宮崎妙子	8	7
合 計		119	109

(2)生涯学習指導者・支援者バンク登録者対象・・・新宿力パワーアップ講座 会場:新宿コスミックセンター会議室

日程	テーマ	応募者数	参加者数
6月26日	事例から学ぶ事故防止 [講師] 日野一男 (実践女子短大)	19	19
6月27日	仲間と楽しくコミュニケーションできる学習グループの作り方 [講師] 森 良 (エココミュニケーションセンター)	21	21
7月4日	人の心をつかむチラシの作り方 [講師] 東一邦 (さいたまNPOセンター)	33	27
7月10日	応急救護講習(心肺蘇生法・AED講習) [講師] 日本赤十字社東京支部	40	36
2月5日	現代社会とボランティア [講師] 宮崎芽子 (三重大学・バンク登録者)	25	22
3月6日	知っておけば安心! 個人情報取り扱いの基礎知識 [講師] 蒲田雄介 (弁護士)	26	23
3月12日	障がい者との関わり方学習会・体験して分るサポートのポイント [講師] 荒井和子 (社団法人日本スポーツ吹矢協会)	14	0
3月13日	子どもと遊び・子どもの発達をふまえた質の高いプログラムの提供を [講師] 吉永武史 (早稲田大学)	23	16
3月19日	地域組織の運営術・地域を元気にするコミュニティビジネス [講師] 中森まどか(NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター)	22	15
合 計		223	179

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-10-(1)		
人材バンクの充実 (1)人材の育成と活用		開催日時					
		参加料設定					
内容	文化やスポーツ、国際理解や芸術など幅広い分野で新宿の地域人材を発掘・登録し、養成講座等を実施しつつ、地域の活性化や新宿力を高めるための地域還元の仕組みとして、人材バンクを整備する。人材バンク登録者、ボランティアを始めたい方の養成講座ほか、活用を促進するためのレベルアップ講座を実施する。						
事業区分	1自主事業	対象者	区民全般				
	2補助事業	会場	新宿コズミックセンター				
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考		登録者数	527人		
	広報紙 ホームページ ポスター・チラシ	要請			活動日数	4,180日	
申込み	方法	期間		参加者数	レベルアップ講座 応募者:342人 参加者:288人		
	電話・FAX HP・E-mail 往復はがき	講習会	上期(6月～9月) 下期(10月～3月)	延べ			
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		7号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	959,000	297,765	1,890,000	740,960	1,149,040	39.2%
(2)	人件費(円)	-	-	8,043,000	7,101,262	941,738	88.3%
(3)	総事業費(1)+(2)	959,000	297,765	9,933,000	7,842,222	2,090,778	79.0%
(4)	事業収益(円)	0	0	0	32,500	32,500	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	959,000	297,765	9,933,000	7,809,722	2,123,278	78.6%
(6)	延べ参加者数(登録者数)	1,048	796	1,126	527	599	46.8%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	915	374	8,821	14,819	5,998	168.0%
【目的】文化やスポーツ、国際理解や芸術など幅広い分野で、新宿の地域人材を発掘・登録し、地域住民の生涯学習実現の支援と、地域社会における人材交流・区民がより質の高い生活を送るため、地域人材による還元のための仕組みを整備する。							
【目標・成果指標】1 登録者の活用先の拡大と満足度向上。登録者に対する有償ボランティア制度の仕組みの導入。 2 各々のバンク・ボランティア登録者及び同様の活動をしている区内団体の組織化とネットワーク化。							
【課題】 1 登録者の活用先の拡大。登録者の満足度を高め、活動意欲を高める仕組みが必要。 2 各バンク、ボランティア登録者同士のつながりが弱く、情報の共有化ができていない。							
【今年度の結果】 登録者数 達成率:46.8%(527/1,126) 前年度比:66.2%(527/796) 活用件数 達成率:101.3%(4,180/4,125) 活動日数を計上 前年度比:-%(4,180/-)							
<内訳・内容> 内訳別紙 1 前期(6月～9月)、後期(10月～3月)に指導者・支援者を対象にしたレベルアップ講習会を実施。 2 効果的な人材情報の周知公開を検討するため、既に人材活用があり情報公開を行っている5自治体へ調査を行った。市、吉川市、千葉県、東京都世田谷区、中野区) 3 生涯学習フェスティバル「音楽・コーラスのつどい」の舞台運営と「写真展」の展示作業等で支援者を活用。専門スタッフとして活動育成を開始。 4 照会者(電話・FAX・窓口)に対する情報提供事務。 5 人材バンクを区民に周知するための制度案内パンフレットの作成。							
【今後の課題】1 登録者数増への制度PRの方法の工夫、定期的な情報更新の方法の検討。2 財団事業と連動させた登録者の活用件数増。3 地域スポーツ・文化事業への参画促進。4 区内各所(社会福祉協議会など)・人材制度を持つ各課との情報共有・連携と今後の運用・役割分担の検討。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
会議費	5,000			5,000	0	5,000	0.0%
旅費交通費	2,000			2,000	0	2,000	0.0%
通信運搬費	142,000			142,000	8,920	133,080	6.3%
消耗品費	829,000			829,000	278,940	550,060	33.6%
印刷製本費	105,000			105,000	26,100	78,900	24.9%
保険料	15,000			15,000	5,000	10,000	33.3%
諸謝金	592,000			592,000	422,000	170,000	71.3%
委託費	200,000			200,000	0	200,000	0.0%
人件費	8,043,000			8,043,000	7,101,262	941,738	88.3%
事業費合計(円)	9,933,000			9,933,000	7,842,222	2,090,778	79.0%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
事業収入				0	32,500	32,500	-
合計(円)	0			0	32,500	32,500	-

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
80.0%	78.0%	4.2

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<p>1 登録情報の活用を増やすため、バンク制度周知パンフレットを作成。</p> <p>2 区民が地域活動するために必要な具体的な講座にした結果、バンク登録者以外の参加者が増え、バンク制度の周知と登録者増につながった。</p>
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第7号	事業番号	7-10-(2)		
(2)活動団体の組織化・ネットワーク化		開催日時					
		参加料設定					
内容	文化やスポーツ、国際理解や芸術など幅広い分野で新宿の地域人材を発掘・登録し、養成講座等を実施しつつ、地域の活性化や新宿力を高めるための地域還元の仕組みとして、人材バンクを整備する。また、地域人材としての個人や団体を支援し、情報の共有化と活動の活性化を図るため、各種団体の組織化とネットワーク化を推し進める。						
事業区分	1自主事業	対象者	区民全般				
	2補助事業	会場					
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考	登録者数	527人			
	広報紙・ホームページ・パンフレット		応募者数				
申込み	方法	期間	参加者数				
	申請書に基づく窓口面談	4月1日～平成23年3月31日	延べ				
歳出科目	会計	大科目	中科目				
	公益目的事業会計	事業費支出	7号事業費支出				
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	2,685,000	-	322,000	129,528	192,472	40.2%
(2)	人件費(円)	-	-	0	426,562	426,562	-
(3)	総事業費(1)+(2)	2,685,000	0	322,000	556,090	234,090	172.7%
(4)	事業収益(円)	0	0	0	0	0	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	2,685,000	0	322,000	556,090	234,090	172.7%
(6)	延べ参加者数	-	-	-	-	-	-
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	-	-	-	-	-	-
<p>【目的】文化やスポーツ、国際理解や芸術など幅広い分野で、新宿の地域人材を発掘・登録し、地域住民の生涯学習実現の支援と、地域社会における人材交流・区民がより質の高い生活を送るため、地域人材による還元のための仕組みを整備する。</p> <p>【目標・成果指標】1 各々のバンク・ボランティア登録者及び同様の活動をしている区内団体の組織化とネットワーク化。 2 人材情報の適正管理と簡便な検索・照会のための人材情報データベース兼検索・照会システムの導入による活用促進のための基盤づくり。</p> <p>【課題】1 各バンク、ボランティア登録者同士のつながりが弱く、情報の共有化ができていない。 2 各バンクの人材・ボランティアを一元的に登録管理し、検索・照会できるシステム導入のための条件整備。</p> <p>【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率:-%(0/1) 前年度比: -(0/0) < 内訳・内容 > 1 各種団体の現状調査をおこない、組織化への意見を収集。 2 区民の生涯学習に寄与できる種目団体と組織化へ向けてコーディネートおこなった。 区内生涯学習館で活動する写真学習団体4団体間の連絡会が発足。しかし組織化へは至っていない。 3 他自治体の人材バンク運営の実態の把握と人材のデータベースの管理運営について調査した。</p> <p>【今後の課題】 1 登録者のみならず、区民や区・財団のそれぞれが活動情報を発信・検索・照会できるシステムの導入に向けた準備。 2 登録者の地域スポーツ・文化事業への参画促進。</p>							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
会議費	6,000			6,000	0	6,000	0.0%
旅費交通費	16,000			16,000	0	16,000	0.0%
通信運搬費	24,000			24,000	0	24,000	0.0%
消耗品費	244,000			244,000	129,528	114,472	53.1%
諸謝金	32,000			32,000	0	32,000	0.0%
人件費	0			0	426,562	426,562	-
事業費合計(円)	322,000			322,000	556,090	234,090	172.7%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<p>1 人材情報の簡便な検索・照会のための人材情報データベース兼検索・照会システムの準備となる人材情報の整理が完了した。</p> <p>2 団体組織化へ向け、写真学習団体の連絡会が発足。</p>
---------------	---	--